

# 類聚名物考

五十二

和書門			
類	號	函	架
二七七八	一一二	二	一六一
冊	冊	冊	冊

庫文閣内			
類	號	冊	架
二七七八	一六一	二	一六一
冊	冊	冊	冊

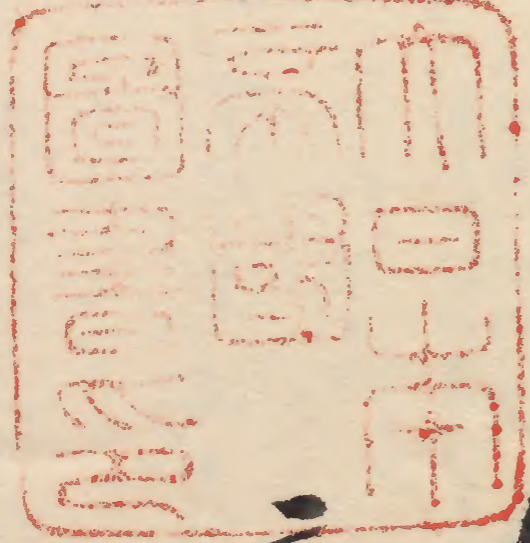
(五六一)

庫文閣内	
番號	和 27798
冊數	156 ( 65 )
函號	209 106



類聚名物考  
中二卷

同 同



四 五 六

姓氏部

明治十三年  
膽寫

張款時存物 014-114

四

四

新加坡 日



Handwritten text in Chinese characters, including the name '張款時存物' and other illegible characters, spanning across the gutter and onto the left page.



その世に存るるは下  
○又あるは氏孫より下  
宗と名付、その世に存るるは下

○續日本紀卷十九 孝謙天皇天平勝寶六年十一月丁亥從四位  
下大神朝臣社女外從五位下大神朝臣多麻呂並除名從  
本姓社女配於日向國多麻呂於多禰嶋因更擇他人補神  
宮祚宣祝其封戶位田并雜物一事已上令太宰檢知焉  
○姓氏錄中末十六卷 大和國神別地祇素佐能雄命六世孫大國  
主之後也初大國主神娶三嶋溝杭耳之女玉櫛姫夜未曙  
去不曾盡到於是玉櫛姫績苧係衣至明隨苧尋不見經  
於茅渚縣陶邑直指大和國御諸山還視苧遺唯有三  
縈コケ因之号姓大三縈

大伴宿祢

○姓氏錄中末五十六卷 左京神別中天神高皇產靈尊五世孫天  
押日命之後也初天孫彥火瓊杵尊神駕降之也  
天押日命大來目部立於御前降于日向高千穗峯然  
後以大來目部為鞞負部天鞞負之号起於此也  
雄畧天皇御世以天鞞負賜火連公奏曰衛門開闔  
之務於職已重若一身難堪望与愚兒語相伴奉衛  
左右勅依奏是大伴佐伯二氏掌左右開闔之縁也

大伴連

○姓氏録中本五十九左 左京神別中 天神道臣命十世孫佐弓彦ササヒ 之後也

○同上下未百六十五左 未定難姓河内國 天彦命之後也

今あまの天彦ハ上ノ佐字を備へて佐天彦なり

大伴大田宿祢

おほのともおほののすくね

○姓氏録中本六十八右 右京神別上 天神高魂命六世孫天押日命之後也

大伴山前連

おほのともやまのまのむらじ

○姓氏録下本百四右 和泉国神別 天神大伴宿祢同祖日臣命之後也

大伴造

おほのとものおよりのむらじ

○姓氏録下本百七右 大和国諸蕃任那 出自任那國王龍主王孫佐利王也

休三也  
○大内職神祇書大内職書  
大内職書  
大内職書

○大内職神祇書  
大内職書  
大内職書

○大内職神祇書  
大内職書  
大内職書

大内 お不ち

○筆苑禊記卷二 日本国大内殿以其先世出自我国向慕之誠異  
於尋常而嘗遍考前史未知出處但新羅殊異傳云東海濱  
有人夫曰迎鳥妻曰細鳥一日迎鳥採藻海濱忽漂至日本国  
小嶋為主細鳥尋其夫又漂至其国立為妃是時新羅日月無  
光日者奏曰迎鳥細鳥日月之精今去日本故有斯怪王遣使  
求一人迎鳥曰我到此天也乃以細鳥所織絹付使者曰以此糸  
天可笑遂名祭天所曰迎日仍置縣是新羅河達王四年也我  
国人之為王於日本者止此耳但未知其說之是非也大内之先  
恐或出此 ○筆苑禊記凡二卷 朝鮮徐達城所撰徐名居止  
字剛中氏化中序

○今按子迎鳥細鳥之事之因遺事亦出文少易之延鳥細  
鳥之出又通深之迎鳥細鳥之互稱字の誤之  
在渡翁の益以略除之載之書の終外國の事あり

凡部 凡作丸

おろし

あべ

○姓氏録上本左京皇別下 和安部同祖 姦姥津命男伊富 都久命之後也

凡一作丸こまと列す 凡平本と列す 凡徳之次下凡 字平本ヲシとま 凡河内の例は 凡河内の例は

凡人中家

○姓氏録下本和泉國諸蕃漢 山代忌寸同祖 白龍王之後也

凡平本と列す 凡海邊平本と列す 凡河内

凡人

○同上下本未定雜姓 和泉國 神行久宿祢命之後也

凡平本と列す 凡河内

凡河内

おろし

古事記上本小天神日子根命 凡河内國造造云々等之

祖也と云々 日本紀も是の同 又日本書紀も大河内

と云々姓も是河内凡又云々姓も云々 凡河内

○百人一首古説 凡我上在 封縣も中古に郡縣も成

ぬきの封縣の時 國と云々 成務天皇の御時 凡河内の例は

凡河内の例は 凡河内の例は 凡河内の例は 凡河内の例は





大枝朝臣

古不元

大江

○三代實錄第十三 貞觀八年丙戌冬十月壬申十五日丙戌先是  
 參議正四位下行右大辨兼播磨守大枝朝臣氏雄上表  
 曰去延曆九年十二月 勅書曰春秋之義祖以子貴此則禮  
 經之無典帝王之恒範宜朕外祖母士師宿祢追贈正  
 一位某改士師氏為大枝朝臣者謹案春秋曰國家之立  
 也本大而末小漢書曰枝大於幹不折必摧是知枝條也大  
 根幹由其摧殘譬猶子孫暫榮祖統徒此窮盡然則以  
 大枝為姓誠非本枝長固子孫無疆之義也但此姓已生自  
 先皇之恩給不欲在遺民變草望請不敢改稱詔但將以  
 枝字為江然則一門危樹不鳴柯而永春千里大江宗辭  
 海而無盡至是詔許之

○續日本紀

光仁天皇天應元年遠江介從五位下ハシ土師宿

祢道長等一十五人言土師之先出天穗日命十四世孫

野見宿祢キ望請因居地名改土師以為菅原姓

勅依請許之 延曆九年十二月 勅外從五位下菅

原宿祢道長秋篠宿祢安人等並賜姓朝臣又正六

位上土師宿祢諸人等賜大枝朝臣其土師氏總有四腹

中宮母家者桓武中外祖母是毛受腹也故毛受賜者賜大枝朝臣

自餘三腹者是從秋篠朝臣或屬菅原朝臣矣云々

○案ハシ大枝菅原ハシ地名之延元武の強陵武子ハシ  
 大枝陵ハ山城國乙訓郡ハシ

或は菅原吉仲土師菅原吉仲を改め大枝  
別名とすともも 御所大枝朝臣ハ音人ハの時  
上表して大江と改めし

○姓氏録中本七十一左 右京神別下天孫土師宿祢天穗日命十二世  
孫可美乾飯根命之後也光仁天皇天應元年改土師賜  
菅原氏有勅改賜大枝朝臣姓  
○同上中本七十一右 大枝朝臣 土師朝臣同祖乾飯根命七世孫  
大保慶連之後也

大春日

おろかすが

○後撰集四巻 糸雀院の玉寄におつちけり時  
あそひ等あり月ひかり御書ありまじりてほろけり  
ころきりれかよきける  
○今ある大春日ハハ

糟垣臣 かすがの  
姓氏録上ノ 大春日朝臣の系を今出大春日氏の布姓之

大空

おんくふ

○後撰集九離系 ちまよまかりける人一娘のま一  
つゞの後のま乃一まよまかりける

身をつら一まよまかりける  
おんくふのまよまかりける

路真人

○姓氏録上本  
一右本

おんちのまよまかりける

まよまかりける

路宿祢

○同上下本  
百十九右

おんちのまよまかりける

まよまかりける

ひこ姓一おんちと訓一あれと大略とあつて訓が  
あつちと訓一てみ字一訓一せ

大中臣朝臣

おんちのまよまかりける

申居附お

○河社一沖一卜一部一の一系一 あり考一あり

○大中臣の朝臣一日本紀一後一日本紀一依一て考一れ一初一の  
大職一冠一中一臣一連一緋一子一孫一系一氏一を一多一く一依一つ一る一の  
孫一系一、考一あり一以一て一代一と一な一る一後一文一武一天一皇一乃  
御一宇一小一沖一事一、依一つ一る一若一ハ一中一臣一の一本一姓一、一か一つ一つ一ま  
す一の一初一定一ま一て一後一京一意一員一麻一呂一、一中一臣一、一考一れ  
たり一その一意一員一麻一呂一の一男一信一麻一呂一、一孫一信一天一皇一の一本一字  
慶一雲一ニ一中一納一言一、一依一つ一る一大一の一字一を一考一ま一り一て一考一れ  
たり一大中臣一と一つ一る一法一麻一呂一ハ一先一に一天一皇一の一本一字一  
之一年一、一大一中一臣一と一な一る一後一二一位一、一依一つ一る一二一位一、一依一つ一る一二一位一  
と一考一れ一る一、一その一後一、一流一ハ一大一中一臣一と一考一れ一る一、一流一ハ一大一中一臣一と一考一れ一る一



○姓氏録中本左京神別上天神 大中臣朝臣 藤原朝臣同祖  
 ○出自津速魂命五十三右三世孫天兒屋根命也七三世孫内大臣  
 大織冠中臣連鎌子右記曰天命開別天皇謚天智八年賜  
 藤原氏男正一位贈太政大臣不比等天淳中原瀛真人  
 天皇謚天武十三年賜朝臣姓

息長真人

おきふかのま

○姓氏録上左左京皇別上出自譽田天皇謚應神皇子ワカヌケ  
 二侯王之後也

大宅真人

おぢやけのみ

○姓氏録上本左京皇別上路真人同祖依續日本紀判定  
 ○出自敏達天皇皇子難波王

大原真人

おほらまのみ

○姓氏録上右左京皇別上出自謚敏達孫百濟王也續日本  
 紀合也

息長丹生真人

おきふのま

○姓氏録上左左京皇別下息長真人同祖

多朝臣

お不の何そん

○姓氏録上左左京皇別上出自謚神武皇子神八井耳命之後也日本紀合也

大春日朝臣

おほかすかの何そん

○姓氏録上左左京皇別下出自孝昭天皇皇子天帶彦國押人命也仲臣命家重千金委糟為堵于時大鷓鴣天皇謚仁德臨幸其家詔号糟垣臣後改為春日臣桓武天皇延曆二十年賜大春日朝臣姓

同書下末未定雜姓出城國春日部村立何

大朝臣

お不の何そん

○姓氏録上左左京皇別下上毛野朝臣同祖豐城入彦命六世孫下毛野君奈良弟真若君之後也

大野朝臣

お不の何そん

○姓氏録上右右京皇別上豐城入彦命四世孫大荒田別命之後也日本紀合也

音太部

おふと

○姓氏録上右右京皇別上高橋朝臣同祖彦屋主田心命之後也

○同上上末大和國皇別高橋朝臣同祖大日子命之後也

大宅

おぢやけ

○姓氏録上末右京皇別下小野朝臣同祖天足彦國押人命七世孫花命之後也

○今對大宅直人大宅氏大宅首同一以下臣氏凡

息長連

おぢながのむすし

○姓氏録上末右京皇別下應神天皇皇子稚瀆毛二俣王





花奈後也と云を思へばと曰くは上ハ晚闕之  
又大宅臣もいへ

忍海部

○姓氏録上未河内國皇別開化天皇皇子比古由牟須美命之

忍坂連

○同上下未未定雜姓左京火明命之後也

大家臣

○姓氏録上未和泉國皇別建内宿祢男紀南宿祢之後也謚

天智庚午年依居大家及大宅臣姓

大家臣

○同上中未おんやけのあし  
大宅臣之同祖津速魂命之後也

大真連

○姓氏録中本左京皇別上天神速日命十五世孫弥加利大連之

後也上宮太子攝政之年住大掠宮于時家邊有大侯楊柳  
太子巡行卷向宮之時親指樹間即詔阿比大連賜大真連

四世孫正六位上千繼等天平神護元年改字賜大真連

○多量子中本大負連中本化々中本ハ中本大暎中本ハ中本大真連

大家首

○同上中未右京神別下天孫天道尼乃命孫比古麻夜真止

大宅首

○姓氏録中未左京神別上天神大閉蘇弥命孫建新川命之

後也  
○同上中未右京神別上天神大閉蘇弥命孫建新川命之

後也

大掠置始連

おんろくおいはじめのむらじ

○姓氏錄中本左京神別中天神縣大貝同祖阿居太都

命之後也

○同書中本右京神別上天神長谷置始連一

大炊刑部造

おんいけさかべのむらじ

○姓氏錄中本左京神別下天孫火明命四世孫阿麻刀祢命之後也

○同上中本右京神別下天孫火明命三世孫天礪目命之後也

大村直

おんむらたのむらじ

○姓氏錄中本右京神別下天孫天道根命六世孫若積命之後也

後也

○同上下本和泉國神別天神紀直同祖大名草茂命男枳弥命都珍イ

之後也

凡海連

おんいほのむらじ

○姓氏錄中本右京神別下地祇海神綿積命之男穗高見命

之後也

○同上中本攝津國神別地祇安曇宿祢同祖綿積命六世孫小栲梨

命之後也

○同上下本未定雜姓右京火明命之後也

大掠連

おんろくのむらじ

○姓氏錄中本山城國神別天神今木連同祖止与波知命之

後也

大田祝山直

おろしきりやまのりふ

○姓氏録

中未  
十三右

大和国神别天神

天枝命子天爾支命之

後也

大角隼人

おすまのすい

○姓氏録

中未  
十四右

大和国神别天孫

出自火園降命也

同書

中未  
十五左

山城国神别阿多隼人有

大坂直

おさかのりふ

おさ

○姓氏録

中未  
十四右

大和国神别天孫

天道根命之後也

刑部首

おさかのりふ

○姓氏録

中未  
九十五右

攝津国神别天孫

火明命十七世孫屋主宿祢

之後也

○古本分注宇麻志麻治命十一世孫物部石持連

公刑部造守之祖

刑部

○同上

下本  
百廿六右

右京諸蕃下百濟

出自百濟国酒王也

大村直田連

おほむらたのむらと

○姓氏錄中本九十六左

河内国神別天神

大村直同裡天道根命之後

大縣主

おほあがのり

○姓氏錄下未百右

河内国神別天神天津彦根命之後也

大縣史

おほあがのり

○同上下本百廿六右

右京諸蕃下百百濟国人和德之後也

大鳥連

おほとり

○姓氏錄下本百五左

和泉国神別天神大中臣之同祖天兒屋根命之後也

大庭造

おほのり

○姓氏錄下未百五左

和泉国神別天神神魂命八世孫天津麻良命

之後也

大園忌寸

おほのり

○姓氏錄下未百十左

左京諸蕃上漢出自魏文帝之後安貴王也公イ雄

畧天皇御時率四衆歸化男龍一名辰貴善繪工小泊瀬稚鷗

鷗天皇美其能賜姓首五世孫勤大壹惠尊亦工繪戈

天智天皇御世賜姓倭蓋師高野天皇神護景雲三年

依居地改賜大園忌寸姓也

大岡首

○姓氏録同上

おほをかみあし

大原史

○姓氏録下未百十三左

おほりくのふひと

○同上下未百廿七左

右京諸蕃下百濟

漢人西姓令貴之後也

○同上下未百廿六右

攝津國諸蕃左京出自漢人西姓令貴也

大石也

○姓氏録下未百廿右

おほり

穆之後也

左京諸蕃下漢

高丘宿祢同祖廣陵高

大丘造

○姓氏録下未百廿左

おほやかのやぶこ

率高難迺子之後也

左京諸蕃下百濟

出自百濟國連古王十二世孫恩

大市首

○姓氏録下未百十六右

おほちのあし

羅斯止也

左京諸蕃下

任那出自任那國人都怒賀阿

大山忌寸

○姓氏録下未百廿左

おほやみのいさむ

後也

右京諸蕃下漢

高岳宿祢同祖廣陵高穆之

大石特立

○姓氏録下未百廿右

おほり

大石特立

右京諸蕃下百濟

出自百濟國人庭姓蚊余也

大石林

○姓氏錄下本 百廿九左 右京諸蕃下百濟 林連同祖百濟國人木貴之後也

下中以此漏うる古本より補入

おないーのそやー

おないー

大里史

○姓氏錄下未 百四十二左 河内國諸蕃漢 山田宿祢同祖忠意之後也

おろさよのあひと

大狗連

○姓氏錄下未 百四十七右 河内國諸蕃高麗 出自高麗國人伊礼斯沙礼斯也  
○同上 出自高麗國溢士福貴王也

おこまのむらと

大鹿首

○姓氏錄下未 百五十三左 未定雜姓右京 津速魂命三世孫天兒屋根命之後也

おんかのめしー

おんか

○姓氏錄下未 百五十三左 未定雜姓右京 津速魂命三世孫天兒屋根命之後也

大幸

お不の

○姓氏録下末百五十三石 未定雜姓右京 天押立命四世孫朝泊劔 珀根命之後也

大辟

お不さけ 不さ け不 不さ け不

お不さ け不 不さ け不

○姓氏録下末百五十六石 未定雜姓山城國津速魂命之後也

葉子字書に辟は君也と云ふは大君の借字なり村立とすくはし例を勝字を借てき例なり辟はけと例は辟字よりかりりてよめ行はせ

大友史

お不と のさ ひと

日泊 王命

○姓氏録下末百五十四石 未定雜姓河内國百濟國人白猪奈世之後也

友友の馬りしち友とて大伴と云ふ姓也

大賀良

お不の

○姓氏録下末百六十三石 未定難姓河内國新羅國人郎子王之後也

次子賀良姓有りよは加羅氏有り韓もよは同姓なり

大部首

お不べ のお のつ

杵イ

○姓氏録下末百六十四石 未定難姓和泉國膳杵碓丹穗命之後也

○一本傍注 舊事紀云 饒速日命亦名膳杵碓丹杵穗命

大部首火部

大勝

お不す け不

きの すけ

○姓氏録下末百五十六石 未定雜姓山城國津留木之後也

京平本勝は他一本大は他によりてあはれはあらず

大藏

おんろく

姓氏録に收められ後世大花谷と云ふ唐人の裔也

面西

おんろく

姓氏録卷末に不載姓氏録姓の中より河川も東洋

武家姓氏部

大佛

おきく

○太平記三笠重軍事大佛塔貞吉貞直

民於少佛宗系  
内政六世孫

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*





柔原臣

くまづのち

○姓氏録上右上上毛野因氏豊城入彦命五世孫多奇波世君之後

久米朝臣

くめのち

○姓氏録上右上右京皇别上武内宿祢孫稻目宿祢之後也日本紀合也

日下部宿祢

ひさかべのち

○姓氏録上右上山城国皇别 開化天皇皇子彦坐命之後也日本紀合也

○同上上右上攝津国皇别 日下部宿祢出自開化天皇皇子彦坐命也日本紀合也

久米臣

くめのち

○姓氏録上右上大和国皇别 柳本同祖天足彦国押人命五世孫大難波命之後也

久久智

くまぢ

○姓氏録上右上攝津国皇别 阿部朝臣同祖大彦命之後也日本紀不見

日下連

ひさかべのち

○姓氏録上右上河内国皇别 河内朝臣同祖大彦命男 紐結命之後也日本紀漏

日下部連

くさかべのみむしど

○姓氏録<sup>上末</sup>河内国皇別 彦坐命子狭穗彦命之後也

○今案<sup>上末</sup>河内国皇別 彦坐命子狭穗彦命之後也

皇坐命子狭穗彦命之後也

日下部<sup>上末</sup>彦坐命子狭穗彦命之後也

出<sup>上末</sup>彦坐命子狭穗彦命之後也

日下部

○同上<sup>中末</sup>河内国神别 天神 神饒速日命孫比古由支命之後也

日下部

○姓氏録<sup>上末</sup>河内国皇别 日下部連同祖

○同上<sup>上末</sup>和泉国皇别 日下部首同祖 ○彦坐命之後也

○同上<sup>中末</sup>根津国神别 天孫阿多御午大養同祖 大園降命之後也

日下部首

くさかべのみむしど

○姓氏録<sup>上末</sup>和泉国皇别 日本部宿称同祖 彦坐命之後也

○同上<sup>下末</sup>未定 雑姓 根津国 天日和支命 六世孫保都称命

之後也

柳代造

くさかべのみむしど

○姓氏録<sup>上末</sup>和泉国皇别 布留宿称同祖 天足彦国押人命

之後也

葛原部

くさかべのみむしど

○姓氏録<sup>上末</sup>和泉国皇别 佐代公同祖 豊城入彦命 三



吳公

くわのきこ

○姓氏錄

中未  
七十八右

山城國神別

天神

天相命十三世孫香雷大臣命

之後也

國栖

くま

○姓氏錄

中未  
八十七右

大和國神別地祇

出自石穗押別神也神武

天皇行幸吉野時川上有遊人于時天皇御覽即入穴須臾又出遊竊窺之喚問答曰石穗押別神子也尔時詔賜國栖名後孝德天皇御世始賜名人國栖意世古次号世古二人允恭天皇御世乙未年中七節進御誓仕奉神態至今不絶

棕垣朝臣

くまのきこ

○姓氏錄

中未  
八十八右

攝津國神別天神

大中臣之同祖津速魂

命三世孫天兒屋根命之後也

國造

くまのきこ

○姓氏錄

中未  
七十九右

攝津國神別

天神

天津彦根命男天戸間見命之

後也

栗栖連

くすのむらじ

栗栖直

くすのあふひ

賈平

○同上下本右和泉国諸蕃漢火撫直同但阿智王之後也

○後漢靈帝四世孫阿智王之後也

栗栖首

くすのあふひ

○姓氏錄下本右京諸蕃上漢文宿祢同祖王仁之後也

桑原村主

くすのめすく

○姓氏錄下本左京諸蕃上漢高祖七世孫萬德使王之  
後也

桑原史

くすのめあひと

○同上下本山城国諸蕃高麗音イ出自狗国人漢冒也

百濟朝臣

くすのあふひ

○姓氏錄下本右京諸蕃下百濟出自百濟国孝慕王三十世  
孫惠王也

百濟公

くすのあふひ

○姓氏錄下本左京諸蕃下百濟出自百濟国孝慕王廿四世  
孫汶淵王也

○同上下本和泉国諸蕃百濟出自百濟国酒王之後也

○同上下本右京諸蕃下百濟鬼神因感和之義命氏謂鬼室瘵  
帝天平宝字三年改賜百濟公姓

百濟

○姓氏錄下本右京諸蕃下百濟義慈王

豐禪王 禪廣王号百濟主

昌成從四位下根 敬福從三位刑部卿

百濟王

くくくひきこ

○姓氏録下本

百廿三左

右京諸蕃下

百濟

出自百濟國義慈王也

○同上

下本

百廿五左

右京諸蕃下

百濟

出自百濟國義慈王也

百濟伎

くく此りひと

○姓氏録下本

百廿五右

右京諸蕃下

百濟

出自百濟國

孝元

都慕王孫德佐

王也

百濟氏

○姓氏録下本

百廿五右

未定雜姓左京

百濟國牟利

加

佐王之後也

内蔵ノ宿祢

くくくのすいぬ

○姓氏録下本

百十九左

右京諸蕃上

漢内蔵宿祢

坂上大宿祢同

祖

○出自後漢靈帝男延王也

百廿五右

都賀直

百廿五右

都賀直

百廿五右

都賀直

百廿五右

都賀直

百廿五右

都賀直

百廿五右

都賀直

倭人

くくひと

○姓氏録下本

百廿二右

右京諸蕃上

漢

阿祖使主男武勢之後也

椋連

くまのむらど

○姓氏録下未  
百七右和泉国仲別天孫火明命男天香山命之後也

椋掎部連

くまきまべのむらど

○同上下未  
百五右未定雜姓攝津国伊香我色乎命之後也

椋掎部首

くまきまべのむらど

○同上下未  
百五三右未定雜姓和泉国吉備津彦五十狹芥人命之後也

桑原直

くまのむらど ○桑原臣上ニアリ

○同上下未  
百世五右大和国諸蕃漢桑原村主同但漢高皇帝

七世孫万得使主之後也

桑原史

○同上下未  
百四右攝津国諸蕃高リ桑原村主同祖万徳使主  
之後也



藏人

○姓氏錄下未百廿六左攝津國諸蕃漢石占忌寸同祖阿智主之後也

くらりくと

くらひと 下々

吳服造

○姓氏錄下未百四十六右河内國諸蕃百餘出自百濟國人阿偏史也

くれそりのみやつこ

吳氏

○姓氏錄下未百五十四右未定雜姓右京百濟國人德率吳伎側之後也

國背穴人

○姓氏錄下未百五十六右未定雜姓山城國秦始皇帝之後也

くらせめとらど

姓氏錄下未百五十七右未定雜姓山城國秦始皇帝之後也  
以國背穴の語也

孔王部首

○姓氏錄下未百六十七右未定雜姓河内國穴穗天皇謚安康之後也

くらまのあふと

くらまのあふと

不河列のこの河の事未詳河多の事と河下  
又互字誤るを又河多と河下

國覓

くふまき

姓氏録の卷あるに不載姓氏録姓にて出せしるは載たり  
その下同書下末百辛若國背実人の子を子の玉背ハリ國覓  
の轉化なるや

山道真人

やまぢのまじ

應神皇子

○姓氏録上本左京皇別上息長真人同祖雅淳毛二侯親王  
之後也日本紀合也

○今案以姓左京皇別下卷意出恐ちハ似文浩有也

八多真人

やたのまじ

とまじ

○姓氏録上右左京皇別上出自謚應神皇子栴野毛二朕王也  
日本紀合也

山於真人

やまのまじ

出自謚敏達孫百濟王

○姓氏録上左左京皇別上大原真人同祖也續日本紀合也

○今案於山と河上と同一意と相也万葉集於山於  
憶良と山於憶良と出  
今案相字の傍ふを於字をく山と河と古河

箭口朝臣

やがちの阿そん

○姓氏録<sup>上左</sup>左京皇别上 宇我石川宿祢四世孫稻目宿祢之後也

和安部朝臣

やまの阿そん

○姓氏録<sup>上右</sup>左京皇别下 大春日朝臣同祖彦姥津命三世孫難波宿祢之後也續日本紀合也

和安部臣

やまの阿そん

○姓氏録<sup>上左</sup>左京皇别下 和安部朝臣同祖彦姥津命五世之孫也

山上朝臣

やまの阿そん

○姓氏録<sup>上左</sup>右京皇别下 栗田朝臣同氏天足彦国押人命之後也日本紀合也

○今案山上と山於と字異なるも訓は同下依れその  
出り所は異なるも又も物に万葉集に山上憶良と  
日本紀に山於憶良とあるはこれに姓もやま  
に於て多くある

山公

やまの阿そん

○姓氏録<sup>上未</sup>大和国皇别内臣同祖味内宿祢之後也

○今案内臣は孝元天皇皇子彦太忍信命之後也と上  
よ又も又和名抄に大和国平群郡夜麻郷とあり不  
たゞ姓氏録に以外狭城山公あり

○姓氏録<sup>上未</sup>和泉国皇别兼仁天皇皇子五十日足彦别命之後也

山守

やまもり

○姓氏錄上未 四十一左 摂津国皇別 岳仁天皇皇子イノ五十日定奇命之後也

山首

下未 百五十九左

未定雜姓 摂津国 火明命十一世孫尾張屋主都久代命

之後也

山口朝臣

やまぐちのあそみ

○姓氏錄上未 四十三右 河内国皇別 道守朝臣同祖武内宿祢之後也續日本紀合也

山口宿祢

○同上下本 百十九左

右京渚蕃上

漢

出自後漢靈帝四世孫都黄

直之後也

矢田部連

やたべのみつね

○姓氏錄中未 五十六左

左京神別上 天神 伊香我色乎命之後也

矢田部

○同上

中未 大和国神前 天神 饒速日命 七世孫 大新阿命之後

也八十二右

○古本分注 大新阿命四世孫物部大別

○矢田部連 八十九左

矢田部

やたべ

○姓氏錄中未 七十八左

山城国神別 天神

鴨縣主同祖鴨建津身命之後也

矢集連

やづめのむつね

○姓氏錄中本 五十六左

左京神別上 天神 伊香我色乎命之後也

○古本裏書之字麻志麻治命八世孫物部大母隅連矢集等祖也

矢作連

やつらのむつね

○同上

下未 百六十四右 未定雜姓 河内国 布都努志乃命之後也

箭集宿祢

やづめのしりぬ

○姓氏録中本右京神別上天神神饒速日命六世孫伊香我色雄命之後也

○古本傍注 伊香色雄命三世孫物部大母隅連公矢集連等祖也

屋連

やのむらじ

○姓氏録中本右京神別上天神神御魂命十世孫天御行命ミユキ之後也

八木造

やぎのきやづこ

○姓氏録中本右京神別下地祇和多羅豊命兒布留多ルタ乃命之後也

和山守首

やまもりのおかし

○同上下本和泉國神別天神神魂命五世孫天道根命之後也

倭木

やまきのき

○姓氏録中本右京神別下地祇神知津彦命之後也一本云椎根津彦別名

○今案よ以姓一本倭木より又のよなき倭木より作るる

山背忌寸

やましろのいささ

○姓氏録中本山城國神別天神天都比古祢命子天麻比上都

祢命之後也

大和連

やまのむら

○同上中平九十五攝津國神別地祇神知津彦命ミモノスリノ二世孫御物足尼之後也

大和宿祢

やまのすくぬ

○姓氏錄中平八十六右大和國神別地祇出自神知津彦命也禊日本磐余彥天皇從日向地向大倭國到速吸門時有漢人乘艇而至天皇問曰汝誰也對曰臣是國神也名字豆彥聞天神子來故以奉迎即牽納皇船以為導導仍号神知津彦一名推根津彦能宜軍機之策天皇嘉之任大倭國造是大和始祖也

和朝臣

やまのあそ

○姓氏錄下卷百十四右左京諸蕃下百海出自百濟國孝慕王十六世孫武寧王主也

倭川原忌寸

やまのかりのいそ

○同上下本  
百六十五未定雜姓河内國

武甕槌神十五世孫度根根

和連

やまのむ

○同上下本  
百六十六大和國諸蕃

出自百濟國主雄蘇利紀王也

○同上下本  
百六十七

同高ク日置造同祖伊利須使主之後也

山直

やまのり

○姓氏錄中末  
九十二之後也

楳津國神別

天孫 天御影命十一世孫山代根子

○同上下本  
百六十八和泉國神別

天孫 天穗日命十七世孫日吉曾日乃己一之名命之後也  
一本作日吉曾乃己呂命

役直

やくのり

えん

あしせ

拾芥抄

○姓氏錄中末  
百六十九河内國神別

天神高脚魂命孫天押立命之後也

今あしせは姓字本は河内國のそのあしせは神代十角もけ姓なるべし  
之名はせしは後ひてえんといへるをれもえんといふと云の略云  
すしは名は神代十角もけ姓なるべし  
未しはれは神代十角もけ姓なるべし

山代忌寸

やましろのいこま

○姓氏錄

下本  
百十右

左京諸蕃上

漢 出自魯國白龍王

楊戾忌寸

やこのいとす

○姓氏錄

下本  
百十左

左京諸蕃上

漢 出自隋煬帝之後達率楊戾

阿子王也

楊戾史

やこのあひと

○姓氏錄

下本  
百十左

左京諸蕃上

漢 出自隋煬帝之後遠率楊

戾阿子主也

楊戾直

やこのちみ

○姓氏錄

下本  
百十右

和泉國諸蕃

漢 楊戾忌寸同祖達率楊公阿了子イ

王之後也

山口宿祢

やまぐちのすくね

○姓氏錄

下本  
百十九左

右京諸蕃上

漢 後漢靈帝四世孫都黃直之

後也

山田宿祢

やまのすくね

○姓氏錄

下本  
百十左

右京諸蕃上

漢 出自周靈王太子晉也

○同上

下本  
百十右

河内國諸蕃 漢 出自魏司空王旭之後也



山田造

やまのむらづこ

○姓氏録

上本  
百七左

右京諸蕃上漢

出自山田宿祢同祖忠意之後

也

○同上

下末  
百五左

未定雜姓和泉國

新羅國天佐疑利命之後也

山田連

やまのむらづこ

○姓氏録

下末  
百四右

河内國諸蕃漢

山田宿祢同祖忠意之後也

八清水連

やみづのむらづこ

○姓氏録

下本  
百廿右

右京諸蕃上漢

出自唐左衛郎將王文度也

揚津連

やみづのむらづこ

やみづ

○姓氏録

下本  
百廿右

右京諸蕃上漢

八清水連同祖王文度之後也

八坂造

やまのむらづこ

○姓氏録

下本  
百廿四左

山城國諸蕃高麗

出自狗國久留川麻乃意

利佐也

山村忌寸

やまのむらづこ

○姓氏録

下本  
百廿五右

大和國諸蕃漢

已智同祖古礼公之後也

八戸史

やべのあひと

○姓氏錄下未 百四十三右河内国諸蕃漢出自後漢光武帝孫章帝之後也

八俣部

やまづべ

○姓氏錄下未 百六十二左未定雜姓河内国百濟国人多地多部イ郡之後也

山河連

○姓氏錄下未 百四十六左乃君之後也河内国諸蕃百濟依羅連同祖素祢志夜麻美

山代国造

やましろのり子佐こ

○古事記上於是天照大御神告速須佐之男命是後所生五柱男子者物實因我物所成攻自吾子也云々故此後所生五柱子之中天津日子根命凡河内国造額田部湯坐連本国造倭田中直山代国造馬來田ウラクダ国造道尻岐閉国造周芳国造倭淹知造高市縣王蒲生カマフラノイナキ稻寸三枝部造等之祖也

山代直

やましろのり子

○姓氏錄下未 百五十六左未定雜姓山城国火明命之後也



倭畫師

やまゝ名

○姓氏錄百十右左京諸蕃上漢大岡忌寸 出自魏文帝之後  
安貴公也雄略天皇御持率四衆歸化男龍辰貴一名善繪工小  
泊瀬椎鷓鴣天皇美其能賜姓首五世孫勤大壹惠尊亦  
工繪才天智天皇御世賜姓倭畫師高野天皇神護景雲三  
年依居地改賜大岡忌寸姓也  
今案同書百四十三右河内國諸蕃漢河内畫師河日新

和藥使主

やまゝ名

○姓氏錄百十右

左京諸蕃下漢文略

○や字部

真野臣

まの乃おん

○姓氏錄百十右右京皇別下文略

真髮部

まがへ

○姓氏錄百十右右京皇別下稚武彥命男吉備武彥命之後也

○同上百十右未定雜姓和泉國天穗日命之後也

茨田連

○姓氏錄百十右右京皇別下多朝臣同祖神八井耳合男彥八井

耳命之後也日本紀編

○同上百十右山城國皇別 茨田宿祢同祖彥八井耳命之後也

○今案同書百十右茨田宿祢河乃乃白

茨田直人

○同上下未百五十五左未定雜姓左京淳中倉太珠敷天皇謚敏達孫大

茨田勝

○姓氏錄上末山城国皇别景行天皇皇子息長彦入大兄

○同上下未百五十五左河内国诸蕃漢出身異国五孫皓之後意富加年招君也溢仁德天皇賜居地於茨田邑因為茨田勝也

馬工連

○姓氏錄上末大和国皇别平群朝臣同祖平群水兔宿祢之後也

○今案、以河内津守本の馬工連といふことあり、或云古事記中云馬御職連同姓も之り

松津首

○姓氏錄上末攝津国皇别 豊嶋連同祖 ○彦八井耳命之後也日本紀漏

茨田宿祢

○姓氏錄上末河内国皇别 多朝臣同祖彦八井耳命之後也男野現宿祢仁德天皇御代造茨田堤日本紀合也

○今案、同書上末同書上末茨田連行て其前同

真神田曾祢連

○姓氏錄日本左京神别上天神 神饒連速日命六世孫伊香我色

乎命男氣津別命之後也

真神宿祢 まかしのすくね

○同上 下本 百七十四石 大和国诸蕃 漢 出自漢福德王也

真髮部造 まかしのつゆ

○姓氏錄 中末 七十六左 山城国神别 天神 神饒速日命七世孫大賣

布乃命之後也

○古本分注 宇麻志麻治命七世孫大咩布乃命

真髮部 まかしのつゆ

○姓氏錄 下末 百五十四右 未定雜姓 和泉国 天穗日命之後也

真神田首 まかしのつゆ

○姓氏錄 中末 百五十五右 大和国神别 天神 伊香我色乎命之後也

目色部真時 まかしのつゆ

○姓氏錄 中本 八十九右 攝津国神别 天神 神魂命十二世孫大足尼命之

後也

○今案乎真時 まかしのつゆ 乎 まかしのつゆ 乎 まかしのつゆ 姓也

真尻家 まかりや

○姓氏錄 下本 百五右 和泉国神别 天神 大村直同祖 ○大名草

彦命男枳弥命之後也

以姓乎 まかりや 川 まかりや 乎 まかりや 以直乎 まかりや 直乎 まかりや 也 まかりや







布勢公

山世の子

○姓氏録上未山城国皇别

仲哀天皇皇子忍雅命之後

也續日本紀不見

布留宿祢

みらのまろ

○姓氏録上未大和国皇别文略

二見首

うさこのおろ

○姓氏録中未大和国神别天孫富須洗利命之後也

苗次連乎

あえあすのむら

○姓氏録下本河内国神别天孫火明命之後也

右本分注天香吾山命六世孫建多牟利命男苗次連若大耳連等之祖也

今あまのそかよふえあす又すすひとあこの川東穂苗疑ふ  
一何の按まろすすひとあまのそかよ又連の下まのあまを  
もふろしあは行字を又苗次連の諸あまや

文宿祢

あんのすね

らや

○姓氏録下本左言諸蕃上漢出漢高皇帝之後寧王也

文忌寸

久人のいこさ

○姓氏録下本左京諸蕃上漢文宿祢同祖ウノ宇爾ユ古首コ之後也

○同上下本右京諸蕃上漢坂上大宿祢同祖都賀直之後也

福當連

ふたのみむし

ふたのい

○姓氏録下本左京諸蕃下高麗出自高麗國人前那能韋

之後也

○同上下本出自高麗人前那志發之後也

今案又京本河外今案ふたのいこさ今案河内今案ふたのいこさ

葛井宿祢

あぢあのみむし

あぢあのみむし

○姓氏録下本右京諸蕃下百濟菅野朝臣同祖塩君男味散君

之後也

以地本切今案からるると河内今案は徳之今案あぢあのみむし今案河下今案菅野朝臣改  
めて葛原今案かかると河内今案又今案河下今案漢本紀宝字  
元年今案改藤原部姓為久須波良部と云ふる今案又今案河内今案は是も  
今案と云ふる今案と云ふる

船連

ふねのむし

○姓氏録下本右京諸蕃下百濟菅野朝臣同祖大阿郎王三世

孫智仁君之後也

○同上下本攝津国諸蕃百濟菅野朝臣同祖大阿良王之後也



史戸

ふひと

劉

○姓氏録

下末百廿九左

攝津國諸蕃漢漢城人韓氏劉德之後也

今兼卷中戸

と子骨名

是八部と曰河内

羽の

次下百廿三左

未定雜姓の母朝戸

令希延表式多よハ陵戸泉戸の類是封戸の戸と曰

又兼十部の草書アなれハ戸と誤れ

へうす

古市村立

○姓氏録

下末百廿七左

河内國諸蕃百濟

出自百濟虎王也

河内

百

庸泉

古氏

○姓氏録下未 百五十四右未定雜姓右京百濟國人行寧玖君之後也

杆下 古都助

○同上下未 百六十五右未定雜姓和泉國大日本根子彦大瓊天皇謚孝靈皇子稚多祁古命之後也

伏丸

ふーまり

○姓氏録下未 百四十七右河内國諸蕃新羅出自新羅國人燕怒利尺

子也子一作子

下平河内一骨名也

二田物部

ふたのぶのち

○姓氏録下未 百五十三右未定雜姓右京神饒速日命天降之時從者二

田天物部之後也

筆氏

ふで

漏下

○姓氏録下未 百五十四右未定雜姓右京燕相國衛滿公之後也善作筆預於一流因茲賜筆姓

船子首

ふねこのあし

○姓氏録下未 百六十二右未定雜姓河内國百濟國人久爾君之後也

○此乃... 未定... 日本... 國... 人... 國... 之... 文... 也

○此乃... 未定... 日本... 國... 人... 國... 之... 文... 也

○此乃... 未定... 日本... 國... 人... 國... 之... 文... 也

○此乃... 未定... 日本... 國... 人... 國... 之... 文... 也

○此乃... 未定... 日本... 國... 人... 國... 之... 文... 也

藤原朝臣

藤原朝臣... 内大臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣...

初藤原朝臣... 天武天皇... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣...

天武天皇... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣...

朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣...

朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣...

藤原朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣... 藤原... 朝臣...

○姓氏錄中本左京神別上天神藤原朝臣出自律速魂命ツハヤムスヒ  
三世孫天兒屋根命也七三世孫内大臣大織冠中臣連鎌  
子古記云天智天皇天智八年賜藤原氏男正一位  
贈大政大臣不比等天淳中原瀛真人天皇天武十三年  
賜朝臣姓

○續日本紀卷一文武天皇二年秋七月丙午詔曰藤原朝臣所  
賜之姓宜令其子不比等承之但意美麻呂等者緣供神夏  
宜復舊姓焉

○本朝通鑑村上天皇天曆元年乙卯國史實錄勅從五位下駿河  
守藤時信鎮護北狄時信其先出自武智鷹四男參談乙  
鷹乙鷹七世孫常陸公維我娶高望女生遠江介為憲仕  
秋田城公曾為木之助攻以工藤為氏時信者為憲孫也世住  
東州為武人所謂二階堂狩野伊藤等數家皆工藤部屬  
而分處相模伊豆駿河遠之間○俗僧武人之出自藤氏者  
任修理進者号進藤任存官助者号存藤任右衛門佐者  
号佐藤任兵衛者号衛藤任兵庫助者号兵藤候武者所  
者号武藤任内藏助者号内藤任主馬首者号首藤首道  
仕近江介者号近藤任尾張介者号尾藤任遠江介者号遠  
藤任伊豆介者号伊藤任賀介者号加藤任備後介者号







巨勢斐大臣 こせひびのちん

○姓氏錄上右右京皇別上巨勢槭田同氏巨勢雄柄四世孫稻茂男荒人之後也

巨勢槭田主 こせひびのおん

○姓氏錄上末大和皇別也後朝臣同祖武内宿祢之後也

小冢連

○姓氏錄上末河内国皇別塩屋連同祖武内宿祢男葛城襲津彦命之後也

細口縣主

○姓氏錄上末河内国皇別志紀縣主同祖神八井耳命之後也

高志連

○姓氏錄中本右京神別上天神高魂命九世孫日臣命之後也

○同上中末大和国神別天神天押日命十一世孫大伴室屋大連公之後也

高志士生連

○姓氏錄中本右京神別上天神日臣命七世孫室屋後也

児江部

○禁裏より用ぬりて宿願をす、其の氏之令より下学  
集上足部をこのかゝると訓く力者政也と注せり  
この代もいとハ足部多し

子部

○姓氏録中本右京神别下天孫大明命三世孫建日米命之後也

拍入野

○姓氏録中本山城国神别地祇大物主命児櫛日方命之後也

踰部大炊

○姓氏録中本大和国神别天神天之三種命八世孫意富麻羅之後也

木津忌寸

○姓氏録下本左京诸蕃上漢後漢靈帝三世孫阿智使王之後也

小高使王

○姓氏録下本左京诸蕃下百濟出自百濟國人毛甲姓加須流気之後也

高麗朝臣

○姓氏錄下本百六十六右左京渚蕃下高麗  
延與王之後也

こまのりん  
出自高勾麗王好台七孫世在

狗首

○姓氏錄下本百廿九右右京渚蕃下高麗

こまのあふ  
出自高麗國人安岳上王同山イ

狗造

○姓氏錄下未百廿三右山城國渚蕃高麗

こまのやひ  
出自高麗國主夫連王也

狗染部

○姓氏錄下未百六十一左未定雜姓

こまのりん  
高麗國須牟祁王之後也須牟部

狗耳首

○姓氏錄下未百六十三右未定雜姓

こまのいのみ  
天足彦國押人命之後也  
一本ハ猪耳首ハ他ハ汝菖稜ヲ守揚侍也

狗太首

○姓氏錄下未百六十四左未定雜姓

こまのあふ  
神人天表日命之後也

高使

○姓氏録下本百十七左 左京諸蕃下高麗 出自高麗国元羅那杵王九世孫延孛王也

高

○姓氏録下本百十七右 左京諸蕃下高麗 高麗国人高助斤之後也  
○同上下本百十九左 高麗国人從五位下高金藏信成之後也

郡首

○姓氏録下本百十三右 右京諸蕃下漢高向村主同祖改姓夫公名一等之後也

己改氏

○姓氏録下本百廿六右 右京諸蕃下百海春野連同祖速古王孫改姓之後也

平本洲句 己改八百海の地名之ヲ知記ノル也

ト  
汶斯氏トも同じく地名又は二姓ハ音譯也

己智

こちを

○姓氏録下本 百廿五左大和国諸蕃漢出自奉太子胡亥也

は姓不列りちあふ

葛口造

こもろちのまや川こ

こもく

○姓氏録下本 百廿六右大和国諸蕃百卅出自百濟國人按田白城君也

葛集造

こもづめのまや川こ

○姓氏録下本 百廿七右未定雜姓大和国天津彦根命之後也

古志連

こいのむすど

○姓氏録下本 百廿三左河内国諸蕃漢文宿祢同祖王仁之後也

○同上下本 百廿八左和泉国諸蕃漢文宿祢同祖王仁之後也

近義首

こぎのあふと

こげ

○姓氏録下本 百廿五左未定雜姓和泉国新羅国王角折王之後也

新羅

こぎ

こげ

惟宗

これむ

姓氏録未し不載姓氏録姓の中より

江首

江首

江首

○姓氏録未し不載姓氏録姓の中より

○姓氏録未し不載姓氏録姓の中より

古志

古志

萬葉

萬葉

○姓氏録未し不載姓氏録姓の中より

○江字部

江沼臣

えぬのぢん

えぬのぢん

○姓氏録未し不載姓氏録姓の中より

之後也日本紀漏合

○姓氏録未し不載姓氏録姓の中より

江首

えのぢん

○姓氏録未し不載姓氏録姓の中より

河内国皇别

彦八井耳命七世孫末目

○姓氏録未し不載姓氏録姓の中より

江人

江人

榎本連

えのもとよむ

○姓氏録中本 五十九右 左京皇别中天神 道臣命十世孫佐氏サハ之後也

同書卷末に不載此氏流傳して也せし中榎本河ハ公  
ハ云れり也セリ云

榎室連

えむろのむ

○姓氏録中本 六十三右 左京神别下 天孫 火明命十七世孫吳足尼之  
後也山猪子連等仕奉上宮豊聰耳里太子御杖代示時  
○太子巡行山代国于時古麻呂家在山城国久世郡水主村  
其門有大榎樹太子曰是樹如室大兩不漏仍賜榎室連

○イハク

役直

えんのりふ

やくら

○姓氏録中未 九十五左 河内国神别 天神 高脚魂尊孫天押立命之後也  
今案よび姓川東海後小角といはれるれ云事れりしやく  
えんと川べりを名りし川なり又やくと川一なりえんと川も  
えんらの略え又巻海の物流りや

榎井部

えのゐづ

○姓氏録下本 百三右 和泉国神别 天神 饒速日命四世孫大矢口根大臣  
命之後也



後子連

○姓氏錄中本 左高皇別中興道原命十世孫佐武成

命

蘇井晴

天の御孫

後宮連

○姓氏錄中本 左京神別下天孫大明命十七世孫其心成

天孫大明命十七世孫其心成

天孫大明命十七世孫其心成

對直

○姓氏錄中本 河内國軒原天孫高城天皇孫天孫命之孫也

〇て字部

出庭臣

てこのおん

いでえ

○姓氏錄<sup>上本</sup><sub>四三右</sub>山城国皇別 孝元天皇皇子彦太忍信命之後也

○今あまの川二有るなりててとてりてとも川下依てあまの川出物例多し

豊嶋連

てりまむ

○姓氏錄<sup>上本</sup><sub>四三右</sub>攝津国皇別 多朝臣同祖彦八井耳命之後也

日本紀編  
○今あまの豊嶋の同字別川を攝津のてりまむとよむ云々

互良公

○姓氏錄下未未定雜姓右京百済國主意里都解四世孫秦羅君之後也

*Handwritten notes in cursive script, including the characters '阿倍' and '安部'.*

○安字部

阿倍朝臣

あべのりえん

○姓氏錄上林左京皇別上 孝元天皇皇子太彦命之後也

日本紀合也

○安部公の姓氏錄下載必ずて安部とあるもの

阿閉朝臣

あへのりえん

○姓氏錄上林河内國皇別阿倍朝臣同祖孝元天皇皇子太彦命之後也

*Additional handwritten notes in cursive script, including the characters '阿閉' and '阿倍'.*

阿閉臣

あびのぢん

○姓氏録上本左京皇别上阿倍朝臣国祖○孝元天皇皇子太  
彦命之後也日本紀合也

○同上上本右京皇别上太彦命男彦皆立大稻輿命之後也日  
本紀合也

○同上上本右京皇别下阿部朝臣太彦命之後也

○今案上本一系ハ右本諸箇何古本をとりて加入

○同上上本河内国皇别阿閉臣阿閉朝臣同祖太彦命男彦  
瀬立大稻起命之後也

阿閉臣  
阿閉臣  
阿閉臣

阿曇連

あづみのむらじ

阿曇連神の後より出阿曇るれハ海ノ志より出依  
て少少上和多の友ハ和より出阿曇るれハ海ノ志より出  
又阿曇の約のハ字られハ字及とれおのづからたの志同  
子ハ伊豆志和心海ハ阿曇字及る成阿曇るれハ海ノ志  
字の友ハ海ノ志一之ハ海ノ志多とるれハ海ノ志云  
姓もよきなり

○古事記上伊邪那岐神於是詔云上瀬者瀬速下瀬者瀬弱而初  
於中瀬隨迦豆伎而祿時云次於水底滌時所成神名底津綿  
津見神次底箇之男命於水中滌時所成神各中津綿津見神  
次中箇之男命於水上滌時所成神名上津綿津見神次上箇之  
男命此三位綿津見神者阿曇連等之祖神以伊都久伊以下三字以音下救之

神也故阿曇連等者其綿津見神之子字都志日金折命之

子孫也 字都志三

○姓氏錄子以音 下本百右河内国神别地祇 安曇連綿積神命兒穗高見命之後也

○同上下本 百六十五右未定雜姓河内国于都斯奈賀命之後也

安曇宿祢

○姓氏錄中本 七十四右右京神别下地祇海神綿積豊玉彦神子穗高

見命之後也

阿曇大養

○姓氏錄中本 九十二右攝津国神别地祇海神大和多羅神三世孫穗已

都久命之後也

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

英多真人 あまのまこと  
○姓氏録上本 左京皇别上 路真人同祖

海上真人 あまのうみのまこと 別あまのうみのまこと

○姓氏録上本 左京皇别上 大原真人同祖 依續日本紀附  
○今案よは姓よの別未詳 中よの別未詳 今案よは姓よの別未詳 中よの別未詳

淡海真人 あまのうみのまこと  
○姓氏録上本 左京皇别上 出自溢天智皇子 大友未也

淡海朝臣 あまのうみのまこと  
○姓氏録上本 左京皇别上 春原朝臣同祖 河嶋親王之後也

赤染 あかぞめ 性あかぞめ 氏あかぞめ 孫あかぞめ 子あかぞめ 載あかぞめ 也あかぞめ

日本書紀天武天皇紀よ赤染徳足と云ふ人あり又續  
日本紀よ  
姓氏録老案よ不載 姓氏録姓とて出せし中よ是也

阿倍志雙連 あへ志ひのむすし

○姓氏録上本 左京皇别上 文略

高長首 あきののちのあか

○姓氏録上本 左京皇别下 文略

阿閉間人臣 あへまのあ

姓氏録上本右京皇別上 伊賀宿祢同氏大稻與命男  
彦屋主思心命之後也日本紀合也

栗田朝臣 あきたのあろん

○姓氏録上本右京皇別下 大春日朝臣同祖天足彦  
國忍人命之後也日本紀合也

安那公 あなのみこと

○姓氏録上本右京皇別下 天足彦國押人命三世孫彦  
國菅命之後也

阿保朝臣 あべのあろん

○姓氏録上本右京皇別下 垂仁天皇皇子息速別命之後也

息速別命幼弱之時天皇皇子築宮室於伊賀阿保村以  
為封邑子孫因家之焉 允恭天皇御代以居地名賜河  
保君姓廢帝天平字八年改公賜朝臣姓續日本紀合  
也

阿祇奈君 あきなのきみ

○姓氏録上本大和國皇別 玉予朝臣同祖彦太忍信命  
孫武内宿祢之後也

阿支奈臣

あきなのおん

○姓氏録上未攝津国皇别玉平朝臣同祖武内宿祢男葛城曾巨比古命之後也

阿礼首

あれのおん

○姓氏録上未河内国皇别守公同祖大碓命之後也

葦占臣

あしづかのおん

○姓氏録上未和泉国皇别大春日同祖天足彦国押人命之後也

縣主

あがりの

○姓氏録上未和泉国皇别和気公同祖日本武尊之後也

縣使主

○同上中未大和国神宗宇麻志摩遲命之後也

阿刀部

○同上下未和氣命之後也阿刀部云云見林本阿下当有久字

○姓氏録中未左京神别上天神右上一同祖○神饒速日命之後也

姓氏録中未山城国神别天神石上朝臣同祖饒速日命孫味

饒日田命之後也

阿刀連

あとのむらど ○姓氏録中未同上 ○同中未同上下未百三左

縣大養宿祢

向かひぬまのすくも

○姓氏録中本 五十九右左京神別中天神神魂命六イ八世孫佐居大

都命之後也

天語連

向まのからひのむと

向まか

○姓氏録中本 六十八右右京神別上天神縣大養宿祢同祖神魂命

七世孫天日鷲命之後也

秋篠朝臣

あきしらのあき

○姓氏録中本 七十一右右京神別下天孫土師朝臣同祖乾飯根命

七世孫大保慶連之後也

朝来直

あさこのあき

あつこ

○姓氏録中本 七十二右右京神別下天孫火明命三世孫天礪目命之後也

阿多御手養

あとのとて

○姓氏録中本 七十三左右京神別下天孫火恩降命六世孫薩摩若



相樂命後也

○今多子次下の申未日下部条下は阿多御子大養同祖に  
按よ犬の字多しは是れ東洋

海大養

○姓氏録中本右京神別下地祇海神綿積命之後也

青海首

○姓氏録中本右京神別下地祇推根津彦命之後也

あとのあし

あそり

阿多隼人

○姓氏録中本山城国神別天孫富乃須佐利乃命之後也

同書中本大角隼人のり

あのみいし

あし

飛鳥直

○姓氏録中本大和国神別天神天事代主命之後也

あすかのみあし

瓊玉許首

○姓氏録中本大和国神別天孫火明命孫天五百原命之  
後也

あまのたま

○今あまの許字よかりに訓(すん)又部の誤也

荒城朝臣

○姓氏錄中末 八十六左攝津國神別天神大中臣之同祖津速魂命三世孫天兒屋根命之後也

瓊部

○姓氏錄中末 九十二左攝津國神別天神大明命二世孫瓊玉部大子之後也

我孫公

○同上下末 百二十三左未定雜姓和泉國豊城入彦命男倭日向健日向

我孫

○姓氏錄中末 九十二右攝津國神別地祇大己貴命孫天八現津彦命

○同上下末 百五十六右未定雜姓攝津國豊城入彦命男八綱多命之後也

綱部

○姓氏錄下末 百四十六右和泉國神別天神饒速日命六世孫伊香我色雄命之後也

安幕

○姓氏錄下本 百廿六左和泉國神別天神饒速日命七世孫トナ子十千尼大

連之後也○一本分注物部連公十市根命

荒田直

○姓氏錄下本百六右和泉国神别天神高魂命五世孫劔根命之後也

穴師神主

河内一のかさぬ

○姓氏錄下本百八左和泉国神别天孫天富貴命之五世孫古佐麻豆知命之後也

飛鳥部

河内かみ

○姓氏錄下本百十左右京諸蕃下百海出自百海国人才吉志之後也

安勃連

あつらのむらじ

○姓氏錄下本百廿五右京諸蕃下百海出自百海国曾王也  
○姓氏錄下本百廿六右京諸蕃下百海後世勃使河原子氏河内一のかさぬと列也

麻田連

あさたのむらじ京本

○姓氏錄下本百廿六左右京諸蕃下百海出自百海国朝鞆王淮也



朝妻造

あさらのまのまゆり

孝為使主  
都留使主

○姓氏録下本  
百廿五右

大和国诸蕃漢

出自韩国人  
都固夫王也

朝戸

あさべ 下本

あさべ

○姓氏録下本  
百五十二左

未定雑姓左京

百海国人  
助廣使主朝臣之

後也

朝明史

あさけのしひと名

あさけ

○姓氏録下本  
百五十四右

未定雑姓右京

高麗帶方国立氏  
韓法史之

後也

葦屋漢人

○姓氏録下本  
百廿六右

振津国诸蕃漢

石白忌寸同祖  
阿智王之後也

葦屋村主

あしやのむらじ

○姓氏録下本  
百廿七左

和泉国诸蕃

出自百海国  
意宝荷羅支王

荒荒公

あいららのきみ

○姓氏録下本  
百廿八左

振津国诸蕃

任那  
任那国豊貴王之後

葦田首

葦田首

あーたのあか

○姓氏録下未  
百五十七左

未定雜姓大和國

天麻比止津乃命之後也

葦田臣

あーふのあん

○姓氏録下未  
百六十九右

未定雜姓河内國

都早奴イ古乃命之後也

足奈

あーる

すくろ

○姓氏録下未  
百五十二左

未定雜姓左京

百濟國人從七位下足奈

真己之後也

あーるのあか  
宿禰を足尼ともあしとるはすくろとも  
あーるのあか  
百濟人の姓をそのあしとるはすくろとも

穴太村主

あーたのあか

○姓氏録下未  
百五十六左

未定雜姓

越國曹氏宝徳公之後也

あーたのあか  
穴太の地名をけし上り  
あーたのあか  
穴太の地名をけし上り  
あーたのあか  
穴太の地名をけし上り  
あーたのあか  
穴太の地名をけし上り

相槻物部

あーつきのあか

○姓氏録下未  
百五十七右

未定雜姓大和國

神鏡速日命天降之時

あーつきのあか  
從者相槻物部之後也  
あーつきのあか  
從者相槻物部之後也  
あーつきのあか  
從者相槻物部之後也  
あーつきのあか  
從者相槻物部之後也

小豆首

あづきのあふと

○姓氏録

下未  
百六十五

未定雑姓

和泉國

吳國人現養臣之後也

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

互京朝臣

何々々

○神皇正統記曰平城の侍子阿保親王の男行平業平の  
互京の姓賜ふ事よげのちの事ふ利へをうへあつぬまへ  
○今葉は姓ハ姓氏録ト載セ

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

阿保あつら

○阿保之代記阿保三河也

○此にまをたむまよひ不元

阿籙

ハハ姓氏録ノ載ナ

あそ

足羽

ハ姓ハ姓氏録ノ載ナ

あすこ

安部公

姓氏録ノ不載

あべのみこ

○太平記卷二足助次郎重成

あすけ



三枝部造

さいくらへのみやづこ

○古事記上於是天照大御神告速須佐之男命是後所生五  
柱男子者物實因我物所成故自吾子也云故此後所生五  
柱子之中天津日子根命凡河内國造額田部湯坐連木國造  
倭田中直山代國造馬來田國造道尻岐閉國造周芳國造  
倭滝知造高市縣主蒲生稻寸三枝部造等之祖也

三枝部連

○姓氏錄

中本  
六十五右

左京神別下

天孫

額田部湯坐同祖頭宗

天皇御世換集諸氏人等賜饗醢干時三莖之草生  
於宮庭採以奉獻仍負姓三枝部造 ○同上

中本  
八十五左

大略

坂上宿祢

さかのへりまきぬ

坂上の宿祢の三代實録を案に坂上大宿祢と同祖のり  
多岐の同姓とてゆへる流とあるも田村麻呂の流は宿  
祢とて多岐の流とは別れとて別れとて別れとて  
のりまきぬとてその氏の異なるも別出とて

○三代實録

貞觀四年六月左京人前越前外從五位下坂上伊美吉能文大學少允從六位上伊美吉斯文等九人賜姓坂上宿祢後漢孝靈皇帝四代孫阿知使主之裔与坂上大宿祢同祖

坂上大宿祢

○同上下本百六右右京諸蕃上漢出自後漢靈帝男延王也

坂田酒人真人

○姓氏錄上右九京皇別上息長真人同祖稚淳毛二候王之後也

坂田村主

○同上下本百六左右京諸蕃下百海出自百海國人顯貴村主也

坂田真人

○姓氏錄上ノ後四左九京皇別下出自謚継体皇子仲王之後也日本紀合也

酒人真人

○姓氏錄上ノ右前右大和玉皇別継体天皇皇子兔王之後也日本紀合也

○同上上末廿六右攝津國皇別佐々貴山君阿部朝臣同祖大彦命之後也 ○日本紀

櫻井朝臣 さくらゐのりまきぬ

核田連

同上下本百廿五右 大和国诸蕃漢 已智同祖诸齒王之後也

櫻井宿祢

同上下本百十九右 右京诸蕃上漢 坂上大宿祢同祖 ○出自後漢靈帝男延王也 ○一本後漢靈帝四世孫東人直之後也

雀部朝臣

サトノのあそん

大雀臣

○姓氏録上本 左京皇别上臣勢朝臣同祖建内宿祢之後也

星河達彦宿祢 溢德神御世代於皇太子大鷦鷯尊繫

坂田宿祢

○同上上本 攝津国皇别臣勢朝臣同祖建内宿祢命之後也  
○姓氏録上本 左京皇别上 息長真人同祖德神皇子稚淳毛 二派王之後也文略

佐味朝臣

サミの向そん

○姓氏録上本 右京皇别上上毛野朝臣同祖豊城入彦命之後也 日本紀合也

佐自努公

サトノの乃きこ

サトノ

○姓氏録上本 右京皇别上 豊城入彦命孫大荒田别命之後也 日本紀漏未定雜姓河内国 豊城入彦命之後也

證岐公

サメキマノキミ

○姓氏録上本 右京皇别下 大足彦忍代别天皇 謚 皇子 五十香足彦命之後也 同書堂未下不載姓氏録姓とて出せしは姓と出せしは之後也

酒部公

サカベのキミ

○姓氏録上本 右京皇别下 大足彦忍代别天皇 謚 皇子

国立公文書館 National Archives of Japan

五十香足彥皇子三世孫足彥大兄王之後也大鷦鷯天皇御  
代從韓國忝來人兄曾保利弟曾曾保利二人天皇勅有何  
才皆有造酒之才令造御酒於是賜麻呂号酒看郎子賜  
山鹿比咩号酒看郎女因以酒看郎為氏

○同上上末五十二右和泉国皇别 讚岐公同祖神櫛别命之後也

佐伯直 さいきのり 下七

○姓氏録上末六左右京皇别下文略 大足彥忍代别天皇皇子稻背

○同上上末四十八右河内国皇别 入彥命之後也日本紀不見

坂合部首 さかひべのおお

○姓氏録上末廿六右大和国皇别 阿部朝臣同祖大彥命之後也

佐伯直 さいきのり

○姓氏録上末廿六左右京皇别下

坂茂連 さかしのり 板

○同上下末百三十三右河内国造著 伊吉連同祖揚雍之後也

いふしけ いふしけ

佐伯宿祢

十一子のちりぬ

○姓氏録中本  
五九左左京神別中天神

大伴宿祢同祖道臣命七

世孫室屋大連公之後也

佐伯連

十一子のちりぬ

○姓氏録中本  
六五右

左京神別中天神 木根乃命男丹波真太玉

命之後也

佐伯造

十一子のちりぬ

○姓氏録中本  
六六右

右京神別上天神 天雷神孫天押人命之後也

佐伯日奉造

十一子のちりぬ

○姓氏録

中本  
六八右

右京神別上天神 天押日命十一世孫誤士連

之後也 ○一本分注誤士一本高志連高魂命九世孫日臣命之後也

○今案下下不下不下強下之下姓下を下連下續下之下也下 且下失下也下

多々校下正下也下

佐伯首

さいしきのあし

○姓氏錄中本 河内国神别天神 天押日命十一世孫大伴室屋大連公之後也

河内国神别天神天押日命十一世孫大伴室屋大連公之後也

坂合部

さかひべ

○姓氏錄中本 阿部朝臣同祖太彦命之後也

坂合部

さかひべ

さかひべ

○姓氏錄 攝津国皇别 阿部朝臣同祖太彦命之後也 允恭天皇御世造立国境之標因賜姓坂合部連

○同上中本 右京神别下天孫 火闌降命八世孫途陪足尼後也

三 後白部宿禰

あしひぶのすくね

あしひぶのすくね

○同上下本 和泉国神别天孫 火闌降命七世孫夜麻等古命之後也

○姓氏錄上本 攝津国皇别 紀朝臣同祖彦太忍信命 孫武内宿禰之後也

紀朝臣同祖彦太忍信命 孫武内宿禰之後也

早良臣

よむらのみん

○姓氏録上末河内国皇别 平群朝臣同祖武内宿祢男平群  
都久宿祢之後也

酒人造

さかしのみやづこ

○姓氏録上末河内国皇别 日下部同祖日本紀不見  
子狭穗彦命之後也

日下部速彦坐命

○同書上末酒入真人よむらひ徳体天皇の後をけり同りかき

酒人十川真人

○姓氏録下末未定雜姓右京男大跡天皇

さかしのみやづこ 溢継体 皇子菟王之

後也

坂本朝臣

さかしのみやづこ

○姓氏録上末左京皇别上 紀朝臣同祖紀角宿祢男白城  
宿祢之後也

○同上上末和泉国皇别 紀朝臣同祖建内宿祢男紀角宿  
祢後也男白城宿祢三世孫建日臣因居賜姓坂本臣日本  
紀合也

雀部臣

さかしのみやづこ

○姓氏録上末和泉国皇别 多朝臣同祖神八井耳命之後也

佐代公

さよのり

さでり

さよ

○姓氏録上末和泉国皇别上毛野朝臣同祖豊城入彦命  
之後也敏達天皇行幸吉野川類之時依有勇事賜  
佐代公

○今あるに姓を不列忌ありをりて四ツの列と云  
お水の微を終りて日書百九左佐太宿祢阿別姓を

佐高連

さかのむら

○姓氏録中末

五十六右

左京神别上天神

速日命六世孫伊香我色

之後也

命

○同上中末

七十六右

山城国神别天神

饒速日命八世孫物部牟伎利

足尼スウニ之後也

○古本分注

宇麻志麻治命十一世孫物部麥入宿祢連公之

子辞蓮公佐為連等祖也

○同上中末

八十二左

大和国神别

天神

石上朝臣同祖神饒速日命十七

世孫伊已止定尼之後也

○古本分注

速日命十世孫物部方持速公佐為連  
等祖又十三世孫辞速公佐為連等祖

佐為宿祢

さゐのすゑ

○姓氏録中末

七十六右

山城国神别

天神

饒速日命六世孫伊香我色

雄命之後也

○古本分注伊香我色乎命五世孫物部石持連公佐為連等祖也



佐夜部首

さやべのあふと

姓氏録

中末  
十九右

攝津国神别天神

伊香我色雄命之後也

古本分注伊香我色雄命三世孫物部大小木連公佐夜部直  
久奴直等祖

狭山連

さやまのみむらど

姓氏録

下本  
百右

和泉国神别

天神

大中臣之同祖天兒屋根命之

後也

櫻野首

さくら野のしん

姓氏録

下本  
百十左

左京諸蕃上

漢

文宿祢同祖王仁孫河浪古首之後也

榮山忌寸

さかめきのしん

○姓氏録

下本  
百十右

左京諸蕃上

漢

唐人正六位上本国岳賜祿晏

子欽入朝焉沈雅岳同時

○同上

下本  
百十二右

左京諸蕃上

漢

唐人正六位上本判官賜祿徐

公卿入朝焉沈雅岳同時

以姓下本判官さかえの下略し刊す凡  
さかえも榮樹之下次も榮井

榮井宿祢

○同上

下本  
百廿七左

大和国諸蕃

高ヤ

日置造同祖伊利須使主男麻呂

臣之後也

佐太宿祢

さこのすけ

○姓氏録

下本  
百十九左

右京諸蕃上

漢

坂上大宿祢同祖○出自後漢

靈帝男延王也

以同書の未附録に姓氏録にえしはる姓と出せし不し貞

姓をこれハ即丈佐太るべ一接付玉

碎田首

○姓氏録下本 大和国诸蕃任那 出自任那国主都奴加阿羅

志等也

不下不下さ下つ下ぶ下こ下を下未下詳下

さ下ひ下た下の下あ下ら下を下名下を下

す下ひ下だ下ん

佐良連

一本佐良良

さ下ら下の下む下ら下じ下

さ下ら下ら下ら下

○姓氏録

下本

百四十六左

河内国诸蕃

百四

出自

百海

国人

久未

都彦也

系下不下刊下る下一下本下佐下良下良下連下子下化下了下未下詳下

貞

姓氏録卷末に不載姓氏録姓とて出せし中より但乞ハ同書  
下本 佐太宿祢何リ同姓なるべ一文字の失あり依て此ひ言れ  
百十九左 貞サタノホリ登トと云人も何リ乎  
て失姓とせしる下古今集は他名も

武家姓氏類

寒河

さへんか

○太平記之筆名軍事 寒河内郡 ○参考寒河令  
勝院本作二河内源氏中他案河内忌非也按寒河氏已  
出自野列結城氏子孫或任寒河改稱之今據院中志  
則秀



法原真人

姓氏録に法原真人ハ敏達天皇孫百濟王後也ト云フ  
但百濟王百濟親王ト者トモ敏達帝の清寧トハ百濟親  
王の事ナリト圖書ニ鳩根真人の事ト百濟王トを例トシ  
シテ親ハ例字ナリト知ト下ト云ク亦トモ以例を納ル  
事ト申ス又ト云フシルハ必トモ一家ト定メテト云フ  
○姓氏録上ノ左京皇別上桑原真人同祖百濟親王後也

法原真人ハ敏達天皇孫百濟王後也ト云フ  
但百濟王百濟親王ト者トモ敏達帝の清寧トハ百濟親  
王の事ナリト圖書ニ鳩根真人の事ト百濟王トを例トシ  
シテ親ハ例字ナリト知ト下ト云ク亦トモ以例を納ル  
事ト申ス又ト云フシルハ必トモ一家ト定メテト云フ  
○姓氏録上ノ左京皇別上桑原真人同祖百濟親王後也

吉良氏

吉良

吉良

吉良

○氏流編年集成本村法常言敏押冬多の吉良氏ハ清和帝の母  
高足村の瑞流より武藏前日深茂氏の子大島尉長氏源  
倉柳管の河初く冬別幡豆郡吉良和條子伝く吉良  
と家号を以て後よそ分流同家因郡和條子伝く和條  
和條和家と成足利の世よ吉良ハ一族の長トシテモ云フ能ク  
る能れとも憲仁ハ清和帝母源より敏和吉良和條茂亮トモ  
男我郷不世ハ次男上野介茂安ハ同姓和條の持廣ハ吉良子  
ト云フ  
法原君の知年ト云フ  
和條家ハ茂亮ハ法原子  
三男ト云フ佐義所ハ後ト云フ

木國造

きののらぶつこ

紀伊

○古事記上於是天照大御神告速須佐之男命是後所生五柱  
男子者而實因我物所成故自吾子也言故此後所生五柱  
子之中史津日子根命凡河内國造額田部湯坐速木國造  
倭田中直山代國造馬來田國造道元岐閉國造周芳國造  
倭淹知造高市縣主蒲生稻寸三枝部造等之祖也

○今案古ハ紀伊と本云とのいひ一倭淹と本云  
の名ニ字ヲ定められし時紀伊とハちよと

紀朝臣

さの何ん

紀朝臣

紀氏古事記に建内宿禰之子九人ありてその内本宿禰の本位都賀臣等の子孫なり又西紀書に之の先祖六つ連ともたけりし事本宿禰の後也

○姓氏録若右京皇別下石川朝臣同氏屋主忍雄建猪心命之後也日本紀合也

○姓氏録上左京皇別上石川朝臣同祖建内宿禰男紀角宿禰之後也

備宿禰 まひのまゝ

○姓氏録上右京皇別上大日本根子彦太瓊天皇皇子稚武彦命之後也

○姓氏録上左京皇別下上毛野朝臣同祖豊城入彦命六世孫奈良君之後也

岸田朝臣 まゝ

○姓氏録上右京皇別上武内宿禰五世孫稻目宿禰之後也男小旆孫臣耳高家居岸田村因負岸田臣号日本紀合也

大私部

○姓氏録上右京皇別下開化天皇皇子彦坐命之後也日本紀漏合  
今案大私部未詳多印さ大私部とも指し私の語之大字をよみて可給今お字をよみて入今も武部西上徳也  
いふ所を大私の位字とすり相名所も

吉志

○姓氏録上左京皇別攝津国皇別難波忌寸同祖太彦命之

後也

紀祝

さめろく

○姓氏録上末河内国皇別 建内宿祢男紀角宿祢之後也

紀部

さく

さくの

○姓氏録上末河内国皇別 建内宿祢男都野宿祢命之後也

○今案古事記上以閉国造又續日紀廣帝紀上出羽吉  
柵戸不地名を剛戸さく之後世本郡さく本戸さく姓也

紀幸梶臣

さのわくの乃おん

○姓氏録上末和泉国皇別 建内宿祢男紀角宿祢之後也

紀直

さののり

中本河内国神別五神神魂命五世孫天道根命之後也

紀直 ○同上下末和泉国神別 天神 神魂命子御食持命之後

也 ○舊事紀神魂命見御食持命 紀伊直等祖

○姓氏録上末左京皇别天神石上朝臣同祖 ○神饒速

日命之後也

衣縫

さぬぬひ ○同上百五十五

○同上下本和泉国神别天神饒速日命六世孫伊香我色雄命之後也

城原

さいり

○姓氏録中本河内国神别天神神魂命五世孫大廣目命

之後也



水津忌寸

きづのいこま

ろづ 下本

○姓氏録下本百十左 左京諸蕃上漢 後漢靈帝三世孫阿智使 王之後也

下本よると訓里未詳存するありかき

浄村

○姓氏録下本百十左 左京諸蕃上漢 陳袁濤塗之後也

清宗宿祢

きよむねのすくね

○姓氏録下本百十右 左京諸蕃上漢 唐人正五位下季元環 之後也

清海宿祢

きよみのすくね

○姓氏録下本百十右 左京諸蕃上漢 唐人從五位下沈雅岳之後也

清海忌寸

きよみのいこま

○姓氏録下本百十右 左京諸蕃上漢 唐人正六位上本賜祿沈庭 勅入朝号沈雅岳同時

清川忌寸

きよかわのいこま

○姓氏録下本百十右 左京諸蕃上漢 唐人正六位上本賜祿盧如 津入朝号沈雅岳同時

浄山忌寸

○姓氏録

下本  
百廿五右

右京諸蕃上漢 出自唐人賜祿沈清庭也

まよふまよふ此の記

城篠連

○姓氏録

下本  
百廿五左

右京諸蕃下 百濟 出自百濟國人達率支母未

まよふまよふ此の記

前惠遠也

清道連

○姓氏録

下本  
百廿五右

右京諸蕃下 百濟 出自百濟國人恩率納比且

まよふまよふ此の記

まよふまよふ

止也

木白佐

○姓氏録

下本  
百廿五左

山城國諸蕃 百濟 未使主同祖津留牙使主之

まよふまよふ

後也

百濟の記曰を日よ他るハ得之同書  
上未 廿三左 曰佐何り又同  
上未 廿六左  
まよふまよふ此の記  
まよふまよふ此の記

黄文連

○姓氏録

下本  
百廿五右

山城國諸蕃 高麗 出自高麗國人久斯那王也

まよふまよふ此の記

祁イ

水勝

木一作大

このまゝり

おふ

○姓氏録

下未  
百五十六右

未定雜姓

山城國

津留木之後也

名不列の——一が大勝まつらる未詳是非多於し物也

清峯

○姓氏録の卷末に石載姓氏録姓比ておせし中より

同書

下未  
百五十六右

清宗

きよむねと云はれしは此の清宗の轉訛也

○ゆ字部

弓削宿祢

ゆげのまゝり

○姓氏録

中本  
五十五右

左京神別上

天神 石上同祖 ○神饒速日命之後也

○今案よ和名抄に河内國若江郡弓削ゆげ郷ゆげこの地

為し依る

○同上

中本  
六十三左

左京神別下

天神

高魂命孫天日鷲アケルヤ翔矢命之後

○同上

中本  
六十五左

左京神別下

地祇

出自天押穗根命洗御乎水中

○同上

中本  
九十四右

河内國神別

天神

天高御魂乃命孫天毘ウシカケ和知可氣

流夜命之後也







源氏

○大鏡身一五十六代法皇の帝法和天皇と申けり清浄ひとや  
是々大鏡天皇の身口の清み之清母の皇子 皇太后云 と申すや  
政大臣良房おとの清むすめと云々 皇太后云 と申すを思へり今の  
世に源氏の武者のさうへをいふおのけの清かめこそハ  
るるめれ

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, likely from a different manuscript or a very light ink impression.]*

宮能賣公

こやのめ乃さそ

○姓氏錄中本山城国神别天神神宮部造 菖城猪石岡  
 天下神天破命之後也六世孫吉足日命 磯城瑞籬宮御  
 宇崇神天皇御世天下有災因遣吉定日命令存祭大  
 物主神災異即止天皇詔曰消天下災百姓得福自今以  
 後可為宮能賣神仍賜姓宮能賣公然後庚午年籍在神  
 宮部造也

○宮能賣公の事  
 山城國神別天神神宮部造菖城猪石岡  
 天下神天破命之後也六世孫吉足日命磯城瑞籬宮御  
 宇崇神天皇御世天下有災因遣吉定日命存祭大物主神  
 災異即止天皇詔曰消天下災百姓得福自今以後可為  
 宮能賣神仍賜姓宮能賣公然後庚午年籍在神宮部造也



子道

こやぢ

○後撰集カニ 吳中他名 子道言風

三統

こむら

○後撰集九 志一他名 三統公右

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

壬生臣

こぶのおん によ

壬生臣ハ姓氏録ニ天足彦國押人命後也壬生部公ハ  
崇神天皇之後也ト云ルハ二流のうらをこ壬生とのこ云ハ  
天足彦國押人命の後也云々且其の姓云々と云々の二の  
ころんけり其之の流の知事編のすけり云々其集の古知事  
ハ云々のたこもと云々のにふと云々も云々のれも云々  
こぶこを古例なき微けり

○姓氏録上未 甲三左右 壬生臣河内國皇別大宅同祖○孝熙皇子 天足彦國押  
人命之後也

壬生部公

こぶのまこ

○姓氏録下未 百六十左 未定雜姓 河内國 御間城入彦天皇之後也



○姓氏録上左 左京皇别上 出自溢天武皇子淨廣シキ破城親王之後也

三国真人

こくまのまゝ

○姓氏録上左 左京皇别下 溢继体皇子椀子主之後也日

水紀合

今抄同右前右山城皇別下は玉眞人の姓と一条出せり注も上文ニヤリ少  
墨ハ錯同子行入再世ニヤリ左京ハ山城の正なりおのほくあまうり右上文の余  
の裏書汚注をせよとありぬ

御原真人

○同上下末  
百五十五

未定雑姓 左京

淳中倉太珠敷天皇 溢敏達皇子彦

人大兄王之後也

○姓氏録上左  
六右

在京皇别上 天武天皇皇子一品新田部王之後也

御使朝臣

一本宿祢

こつりひのろん

○姓氏録上左  
十右

左京皇别上 文略

御炊朝臣

こかききのろん

○姓氏録上左  
廿五

右京皇别上 武内宿祢六世孫守我馬皆宿祢之後也 日本紀漏イ合

道公

こちのまこ

○姓氏録上左  
廿五

右京皇别上 他田廣瀬朝臣同氏大彦命孫彦屋主田心命之後也

御立史

こたらのあひ

○姓氏録上末  
廿七

右京皇别下 御史同氏气入彦命之後也持統

天皇御代依居卷河国青海郡御立地賜御立史姓日本紀

漏 今桑和名抄卷何ふ 詔と海郡の内より涉立々ふ一但智立 郷をりそのおよそ轉るん

三宅連

○同上下本 百四十一左 新羅國王子天日捍命之後也

三宅人

○姓氏錄上末 廿九左 攝津國皇別 太彥命男波多武日子命 之後也 ○三宅史下本 百四十一左

宮部造

○姓氏錄中本 六十二右 左京神別中天神 天壁立命子天皆男命之 後也

三嶋宿祢

○姓氏錄中本 六十八左 右京神別上天神 神魂命十六世孫達日穗命之 後也

三富部

○姓氏錄中末 八十五左 山城國神別天孫 火明命之後也

御手代首

こたりのおと

○姓氏録

中末  
八十三左

大和国神别

天神

天御中主命十世孫天諸神

命之後也

美努連

このむらじ

この

○姓氏録

中末  
九十五右

河内国神别

天神

角凝魂命四世孫天川田奈

命之後也

宮處朝臣

こやこのけん

こやどころ

○姓氏録

下本  
百左

和泉国神别

天神

大中臣之同祖天兒屋根命之後也

以姓名ゆゑにこやとらとまは保りてこやこと河へ後よ  
も都氏河都良番もこの姓と上りも  
但姓氏源老尾に姓氏録を載する姓をわけて内は都氏河  
これに宮處をこやとらと訓しそのりけん

御竹立連

みかしのむらじ

○姓氏録

下本  
百十六右

左京諸蕃下

高麗

出自高麗國人從五位下

高庄子也

道田連

このむらじ

○姓氏録

下本  
百十六左

左京諸蕃下

任那

出自任那国賀室王也

路宿祢

こちのすくぬ

おろち 多分

○姓氏録下本百廿五右 右京諸蕃上漢坂上大宿祢同祖○出自後漢靈帝男延王也○一本谷宿祢同祖○後漢靈帝四世孫宇志直之後也

下本路をあらとよめり大字をいさひよとがしとよ上本路直人のおもおろちとよいふとよのすくぬとよ

宮原宿祢

みやらのすくぬ

○姓氏録下本百廿五左 右京諸蕃下百海菅野朝臣同祖塩君男知仁君之後也○一本百海国都慕三十世孫貴首王之後也

三善宿祢

このりのすくぬ

○姓氏録下本百廿五右 右京諸蕃下百海出自百海国造古大王也今案東国通温速古大王一也昔古とふ人多その傳記あり

御池造

このいけのみやつと

○姓氏録下本百廿五右 右京諸蕃下百海出自百海国杖餘地卓介国王施比王也

三林公

このみやのきこ

○姓氏録下本百廿五左 大和国諸蕃漢已智同祖諸齒王之後也

三野連

此のむじ

○姓氏録下本 百十五左 乃古意弥也

構津国諸蕃百海

出自百海国人布須麻希澤イ

三間名公

こころのまこと

○姓氏録下本 百五十三左 未定雜姓右京 弥麻奈国立午留知王之後 也初御間城入彦五十瓊殖天皇崇神 御世額有角人乘舩泊于越国筭飯浦遠人問曰何国人也對曰意富加羅国王子夕都努我阿羅斯等亦阿利此智于岐傳問日本国有聖婦化到于穴門有人名伊都都比古謂臣曰吾是国王也除吾復無二王勿

往他處臣察其為人知非王也即更還不知道路留連嶋浦海北以廻經出雲国至此国也是時會大皇崩便留仕詔目入彦五十狹茅天皇謚無仁詔曰汝連來會得仕先皇是以改汝本国名遂負御間城皇号曰孫麻奈因給箱即還本郷是改国号之縁也

○同上下本 百十六右 未定雜姓河内国 中臣雷大臣命之後也

姓氏録卷下 不載姓氏録姓をいへりや、美麻那、何、り、是、は、ま、ま、く、三、間、名、公、同、姓、を、い、へ、り、文、字、の、異、り、を、依、り、て、い、ひ、つ、ま、れ、て、い、へ、り、ま、す。

三浦

三浦

三浦

三歳祝

こころのこころ

○姓氏録

下未  
百三十七右

未定雜姓大和國

大物主神五世孫意富大多

根子命之後也

水海連

三河のこれい

所らみ

○姓氏録

下未  
百四十五右

河内國諸蕃

百濟 出自百濟國人努理使主

也

都

姓氏録是あり不載姓氏録姓を也や中々都々都良香も

この姓なり但し同書下未  
百五十五右宮處朝臣何これやこころを也や

よこやとこころと訓一なるの異姓と云ひて也やよこやこの姓も

武家性代と訓

深瀬

いし

深瀬或は三柄よりいし深瀬とも云り山城

○太平記

後醍醐天皇治政最盛を事

山城守源人深

瀬入及松井親人二人は此の案内者なりこれいし

○参考源次西深瀬が作三柄○光明寺藏書孫篇云

山城守源人深瀬之部入及参考向五いし



三ノ部  
○古事記上 於是天照大御神告遠須佐之男命是後所生五柱  
男子者物實因我物所成故自吾子也云云故此後所生五柱  
之中天菩比命之子建比良鳥命此出雲國造天邪志國造  
上菟毛國造下菟毛國造伊自牟國造津嶋縣直遠江國造  
等之祖也

下菟毛國造 あもつめのくぶつし

○古事記上 於是天照大御神告遠須佐之男命是後所生五柱  
男子者物實因我物所成故自吾子也云云故此後所生五柱  
之中天菩比命之子建比良鳥命此出雲國造天邪志國造  
上菟毛國造下菟毛國造伊自牟國造津嶋縣直遠江國造  
等之祖也

○古事記上 於是天照大御神告遠須佐之男命是後所生五柱  
男子者物實因我物所成故自吾子也云云故此後所生五柱  
之中天菩比命之子建比良鳥命此出雲國造天邪志國造  
上菟毛國造下菟毛國造伊自牟國造津嶋縣直遠江國造  
等之祖也

嶋根真人

志すぬのまゆと

○姓氏録上右

左京皇别上大原真人同祖百濟親王之後也

真人朝臣

志すうどのあそん

○姓氏録上右

左京皇别上阿倍朝臣同祖太彥命男皆立

大指腰命之後也日本紀合也

下道朝臣本宿祢

志もつちのあそん

○姓氏録上右

左京皇别上吉備朝臣同祖稚武彥命之孫吉

備武彥命之後也

○今案下道と世は志もつちとの之後とも和名抄備中国

下道郡之美知

と訓しをさへは志もつちと

下毛野朝臣

志もつけのあそん

○姓氏録上右

左京皇别下崇神天皇皇子豊城入彥命之後

也日本紀合也

嶋田臣

志もついのあそん

○姓氏録上右

右京皇别下多朝臣同祖神八井耳命之後也五

世孫武惠賀前命孫仲臣子上稚足彥天皇謚成務御代尾張

国嶋田上下二縣有惠神遣子上平服之復命之日賜号嶋田臣也

志紀首

志すのあそん

○姓氏録上右

右京皇别下多朝臣同祖神八井耳命之後也

新良貴

志す

○姓氏録上末右京皇別 彦波瀲武鸕鷀草薙不合尊勇稻  
飯命之後也是出於新良國主稻飯命出於新良國王者祖合  
日本紀不見

下養公

あもかひのまこ

○姓氏録上末大和國皇別 上毛野朝臣同祖豐城入彦  
命之後也

塩屋連

あやのむら

○姓氏録上末河内國皇別道守朝臣同祖武内宿禰男葛城曾  
都比古命之後也日本紀漏イ合

志紀首

志紀のあし

○姓氏録上末右京皇別下 多朝臣同祖神八井耳命之後也  
○同上上末河内國皇別 志紀縣主同祖神八井耳命之後也  
○今案志紀縣主もすし同祖也

志紀縣主

志紀のあし

○姓氏録上末河内國皇別 多朝臣同祖神八井耳命之後也  
○同上上末和泉國皇別 雀部臣同祖○神八井耳命之後也

嶋首

しまのあし

○同上下末未定 雜姓攝津國 正哉吾勝速日天押穗耳尊之後也

下家連

ふもへのむらじ

ふもや

○姓氏録上本 河内国皇別 彦八井耳命之後也

○今案下本 此亦下本 彦八井耳八神八井命の男之  
神八井命ハ

柴垣連

志のむらじ

○姓氏録中本 左京神别上 天神 饒速日命十二世孫懷文連之後

也  
○古本傍位宇麻志麻治命十二世孫小事連公志陀連柴垣連  
田井連等祖

滋野宿禰

志のむらじ

○姓氏録中本 右京神别下 天神 紀直同祖神魂命五世孫天道  
根命之後也

志貴連

志のむらじ

○姓氏録中本 大和国神别 天神 神饒速日命孫日子湯支命之  
後也 彦湯支命者字麻志摩治命子也 七世孫建新川命  
倭志紀縣主彦祖

志貴縣主

志のむらじ

○同上下本 和泉国神别 天神 饒速日命七世孫大賣布之後也  
○一本分注 業旧事紀宇麻志麻治命七世孫建新川命者倭志  
紀縣主等祖同第大咩布命者若湯坐連等祖云々又云八  
世孫物部即岐美連公志紀縣主等祖也  
今案 志貴と志紀ハ吳姓也 志紀ハ同トカク

倭文宿祢

あづりのすくも

あとり

○姓氏録

中未  
百五

大和國神別天神

出自神魂命之後大味宿祢也

○同上

中未  
九十五右

河内國神別

天神南凝魂命之後也

倭文連

印作香非

あつりのむらじ

○姓氏録

中未  
九十左

攝津國神別

天神南凝魂命男伊佐布竟之後也

白堤首

あつみのあふ

○姓氏録

中未  
八十三右

大和國神別天神

天櫛玉命八世孫大熊命之後也

志悲連

あひのむらじ

○姓氏録

下本  
百右

和泉國神別

天神大中臣之同祖天兒屋根命之後也

下村主

あものすけ

○姓氏録

下本  
百十三右

左京諸蕃上

漢後漢孝武帝七世孫慎近王

之後也

○同上

下本  
百廿三左

右京諸蕃上

漢出自後漢光武帝七世孫慎近王也

後部藥使主

○姓氏錄 下本 百十七右 左京諸蕃下 高麗 出自高麗國人文兄憶德也 文イ

志我閉連

清水首

○姓氏錄 下本 百十八右 左京諸蕃下 任那 出自任那國人都怒賀阿羅斯止也

志我閉連

志我閉連

○姓氏錄 上本 百十六左 右京諸蕃上 漢 出自山田宿祢同祖王安高之後也

志我閉連

○同上 下本 百十五左 河内國諸蕃 漢 山田宿祢同祖王安高男

賀佐之後也

嶋岐吏

○姓氏錄 下本 百廿九右 右京諸蕃下 高麗 出自高麗國人能祁 初イ

嶋木

○同上 下本 百廿七右 河内國緒蕃 高麗 高麗國伊理和須使主之後也

嶋史

○姓氏錄 下本 百廿九右 右京諸蕃下 高麗 出自高麗國人和與也

後部王

○姓氏録下本  
百廿五

右宗諸蕃下高麗

高麗國長王周之後也

以系系也... 浦入

後部高

○姓氏録下本  
百五十二

未定雜姓左京

高麗國人正六位上後部高

千金之後也

○同上下本  
百二十五

未定雜姓右京

高麗國人後部乙午之後也

志賀忌寸

○姓氏録下本  
百廿八

攝津國諸蕃漢

出自後漢孝獻帝之後也

志賀のつとみ

都平不

志賀穴太村主

志賀のつとみのつとみ

○姓氏録下本  
百五十二

未定雜姓右京

後漢孝獻帝男美波夜王之

後也

下曰佐

○姓氏録下本  
百四十四

河内國諸蕃漢

出自漢高祖男存悼息王肥

之後也

曰を平本目... 木曰佐

下神

ふもか

○姓氏録下末 百五十八左 未定雜姓模津國 高木能津彦命男腰裙宿

祚之後也

予不刊也

信太首

ふぶのおめ

千一

○姓氏録下末 百四十九右 和泉國諸蕃百濟 百濟國人百午之後也

○名字部

會加臣

あかのけん

○姓氏録上 百五 右京皇別上 孝元天皇皇子大彥命之後也

殖粟連

あらのむし

○姓氏録中本 百五 左京神別上天神 大中臣同祖 ○出自津速魂命

三世孫天兒屋根命也

○今葉殖る名の上略して 和名あよ小槻國久世郡殖粟



惠我

○姓氏錄下未百五十六左 未定雜姓 山城國 天穗日命之後也

*○姓氏錄百五十六左 未定雜姓 山城國 天穗日命之後也*  
*○古事記上 於是天照大御神告速須佐之男命是後所生五*  
*柱男子者物實因我物所成故自吾子也云云故此後所生五*  
*柱子之中天津日子根命凡河内國造額田部湯坐連水國*  
*造倭田中直山代國造馬來田國造道尻岐國造周芳國*  
*造倭淹知造高市縣主蒲生稻寸三枝郡造等之祖也*  
*○今ある大和の地名は淹知なり古事記の今あるあ*  
*んち 淹知なりといふは行より多しや淹知なり是ハ淹知*  
*と訓へし名ちハ越智と訓例ハ今ハ淹知といひり姓氏*  
*流中本五十七右 越智直所 名不をちといひり*

淹知造

志ちのくしんじこ  
らんち非こ  
大和

○古事記上 於是天照大御神告速須佐之男命是後所生五  
柱男子者物實因我物所成故自吾子也云云故此後所生五  
柱子之中天津日子根命凡河内國造額田部湯坐連水國  
造倭田中直山代國造馬來田國造道尻岐國造周芳國  
造倭淹知造高市縣主蒲生稻寸三枝郡造等之祖也

○今ある大和の地名は淹知なり古事記の今あるあ  
んち 淹知なりといふは行より多しや淹知なり是ハ淹知  
と訓へし名ちハ越智と訓例ハ今ハ淹知といひり姓氏  
流中本五十七右 越智直所 名不をちといひり



今案、此列多、又皆名も可、下末 新少、百四左 次下、百四左 内国諸蕃漢、火撫直、百四左 河、後漢靈帝四世孫阿知使主之後、セト、百四左 凡、百四左 以、百四左 其、百四左 の、百四左 故、百四左 や、百四左 又、百四左

肥直

ひの阿知を

○姓氏録上末 大和皇別多朝臣同祖神八井耳命之後也

廣來津公

ひろまのり

○姓氏録上末 大和國皇別 下養公同祖豐城入彦命 之四世孫大荒田別之後也

○同上上末 河内國皇別廣來津公 上毛野朝臣同祖 豐城入彦命之後三世孫赤麻里呂名 依家地名負廣來 津君者

尋來津首

ひろまのりのおと

○姓氏録下末 未定雜姓右京 神饒速日命六世孫伊香我色雄 命之後也 三下

氷宿祢

ひのすくね

天神石上同祖 ○神饒速日命之

○姓氏

録中本 左京神別上

天神石上同祖 ○神饒速日命之

後也

宇麻志麻治命十一世孫大

一本分能く不毛

氷連

ひのむら

○同上

中末 九十六右

河内國神別 天神石上朝臣同祖

饒速日命十

世孫伊已灯宿祢之後也

○古本分注

物部中琴宿祢連公三世孫 大前宿祢連公祖氷連公等祖

日奉連

ひまつりのむらじ

○姓氏録

中本

五十九右 左京神別中 天神

高魂命之後也

高祖之後世武家之平山氏ハ以姓ニ

檀前舍人連

ひのふまといのむらじ

○姓氏録

中本

六十三右 左京神別下 天孫

大明命十四世孫波利那乃連

公之後也

平岡連

○姓氏録

中本

九十四左 河内国神别 天神 津速魂十四世孫鯛身臣之後也

廣田連

ひろこのむらじ

○姓氏録

下本

百十五右 左京諸蕃下 百濟

出自百濟國人 辛臣君之

後也

○同上

下本

百十六左 右京諸蕃下

百濟

百濟國人 辛臣君之後也

檀原宿祢

ひまのすくね

○姓氏録

下本

百十九左 右京諸蕃上 漢

坂上大宿祢同祖 ○出自後

漢靈帝男延王也

平田宿祢

ひらのすくね

○姓氏録

下本

百十九左 右京諸蕃上 漢 坂上大宿祢同祖 ○出自後

漢靈帝男延王也 ○一本 後漢靈帝五世孫也 夫直之後也

檜前村主

○姓氏録下本  
百廿右 右京諸蕃上漢 出自漢高祖男存王肥也

ひのろまはすぐり

檜前忌寸

○姓氏録下本  
百廿左 攝津國諸蕃漢 石占忌寸同祖阿智王之後也

ひのろまのいそぎ

廣階連

○姓氏録下本  
百廿左 右京諸蕃上漢 出自魏武皇帝子陳思王殖也

ひろりのむらじ

ひろま

平松連

○姓氏録下本  
百廿左 右京諸蕃上漢 廣階連同祖陳思王之後也

ひろまのむらじ

廣津連

○姓氏録下本  
百廿五右 右京諸蕃下百海 出自百海國近貴首王也

ひろりのむらじ

廣海連

○姓氏録下本  
百廿六左 右京諸蕃下百海 出自韓王信之後須教也

ひろりのむらじ

日置朝臣

ひおきのあそん

○姓氏録上未右京皇别下 應神天皇皇子大山守王之後也續日本紀合也

日置造

ひおきのこやつと

○姓氏録下本左京諸蕃下 高麗 出自高麗國人男馬王裔孫菘古君也 ○一本伊利須意弥之後也  
○同上下本右京諸蕃下 高麗 出自高麗國人伊利須使主也一名伊和須

○同上下本大和國諸蕃 高麗 出自高麗國人伊利須使主也

○同上下本撰津國諸蕃 高麗 鳥井宿祢同祖伊利須王之後也使主

日置倉人

ひおきのくらと

○姓氏録下本大和國諸蕃 高麗 日置造同祖 ○一本伊利須使主兄許呂使主之後也

日置部

ひおきのべ

○姓氏録下本未定難姓和泉國 天搦玉命男天搦耳命之後也

廣井運

ひろみのむし

○姓氏録

下未  
百廿九右

攝津國諸蕃百海出自百濟國避流王也

廣原忌寸

ひろつしのいみ

○姓氏録

下未  
百廿五左

河内國諸蕃漢出自後漢孝獻帝男孝德

王也

廣幡公

公平左無

ひろたけのき

○姓氏録

下未  
百廿七左

未定雜姓山城國百濟國津王之後也

多平公字脱より左平をもつ浦入

日根造

○姓氏録

下未  
百廿八右

和泉國諸蕃新羅

出自新羅國人億斯勅イ富使主也

武家姓氏録

平山

初より

源平記の時平山武若下孝重ハ八郎直季ノ男也姓ハ  
日奉<sup>ヒモツリ</sup>なり



○も字部

守山真人

そりやまのちりんと

も乃

○姓氏録

上本  
一右

左京皇別

上

路真人同祖羅波親王之後也日

本紀合

○日本書紀廿九卷  
廿六左

天武天皇紀十二年冬十月己卯朔是日守山公

中略至山道云十三氏賜姓曰真人

守公

もののみと

雄

左京皇別下

○姓氏録

上本  
十九左

年義公同氏大雄命之後也

雄

命之後也日

○同上

上本  
四七左

河内国皇别年義公同祖大雄命之後也日

本紀漏

物部首

もの乃べにあふ

○姓氏録

上本  
四七左

攝津国皇别大春日朝臣同祖也○出自

孝昭天皇皇子天帶彥國押人命也  
○同上中末九十六左河内國神別天神神饒速日命子味嶋乳命之後也

物部門

ものゝへ

門一作間一作首

○姓氏錄下末百五十四左未定親姓山城國神饒速日命之後也

物部

ものゝへ

○姓氏錄上末四十九左攝津國皇別 物部首同祖米餅搗大使主命之後也

○同上上末四十五右河内國皇別 天足彥國押人命七世孫米餅搗

大使主命之後也

○同上上末五十九右和泉國皇別 布留宿禰同祖天足彥國押人命之後也

○同上中本五十八左左京神別上天神 右上朝臣同祖○神饒速日命之後也

○同上中本九十七左河内國神別天神神饒速日命十三世孫物部布都

久呂大連之後也○古本分注物部布都久留連云者伊呂弗連之子也

○同上中本百四左和泉國神別天神神饒速日命六世孫伊香我色雄

命之後也

○同上下末百五十三右未定親姓右京神饒速日命六世孫伊賀我色雄命之後也

物部首野連もぐのへかの乃むし  
○姓氏錄中本五十六左左京神別上天神伊香我色乎命之後也

○今案上野野ハ河内國ニ六野有

姓氏錄中本六十七左右京神別上天神 物部首野連伊香我色雄命之

後也とるはれは日姓也

水取連

みいさりのむし

○姓氏錄中本五十三左左京皇別上天神 連日命六世孫伊香我色乎命之

後也

○同上 中本  
六十七左 右京神別上 天神 神饒速日命六世孫伊香我色雄  
命之後也

水主直

○姓氏錄 中本  
八十五左 山城國神別天孫 火明命之後也

○古本分注 天香吾山命九世孫王勝山代根古命山代水主  
崔部連輕部連蘇宜部首等祖

物部韓國連

○姓氏錄 中本  
八十九左 攝津國神別天神 伊香我色雄命之後也

○別本分注 伊香我色雄命九世孫物部塩古連公葛野韓國連

物部依羅連

○姓氏錄 中本  
九十七左 河内國神別 天神 神饒速日命之後也

○古本分注 宇麻志麻治命十二世孫物部多波連公依細連等  
祖又十三世孫物部吳足尼連公依細連等祖

物部連

○姓氏錄 中本  
百零五右 和泉國神別 天神 神魂命五世孫天道根命之

後也

物部飛鳥

○日上中末九十七左河内国神别天神饒速日命六世孫伊香我色雄命之後也

物忌直

○姓氏録中末九十二右振津国神别地祇推根津彦命九世孫矢代宿

祚之後也

守部連

○姓氏録中末九十六左河内国神别天神振魂命之後也

ものつゝのむらじ

物集連

○姓氏録下末百五十二右未定雜姓左京始皇帝九世孫竺達王之後也

ものめのむらじ

物集

○姓氏録下末百五十六右未定雜姓山城國始皇帝九世孫行支王之後也

ものめ

鏡師公

○姓氏録下末百五十八左未定雜姓大和國高麗國空輪王之後也

ものひし

五統たまりと川又たまりの川記神代巻



菅生朝臣

とりののり

○姓氏録中末九十三右河内国神别天神大中臣朝臣同祖建速魂命三世孫天兒屋根命之後也

吹田連

すけのむらじ

○姓氏録下本九十九右河内国神别天孫火明命兒天香山命之後也

末便主

とりののり

○姓氏録下本百八左和泉国神别天孫天津彦根命子彦稻勝命之後也  
今多事有る末は他りて別あり又ふ末はつらふとれも姓氏録抄末は他りてつらふべし米を別りて

○同上下本百三十三左山城国诸蕃百餘出自百濟國人津雷牙使主之後也

高山忌寸

とりののり

○姓氏録下本百十二右左京诸蕃上漢唐人外從五位下船典賜

祿張道光入朝焉況雅岳同時

○同上下本百十三左左京诸蕃上漢唐人正六位上本丑食賜祿

孟惠芝入朝焉況雅岳同時

沙田史

とりののり

○姓氏録下本百十五右左京诸蕃下百餘出自百濟國人意保尼王也之後

菅野朝臣

すがの北あそん

○姓氏録下末百廿四左 右京諸蕃下百海 出自百濟國都慕王十世孫

貴首王也

松谷造

すがやのまゆり

○姓氏録下本百廿八左 右京諸蕃下百海 出自百濟國人堅祖列耳也

右本松を松子祖る号本皆松子他るに志さふ和名抄  
と考るに揃字条下注に云爾推之揃之皮色白名粉和名  
礼と何れ揃粉を子やまんとよむべし此氏子用見り  
ぶし依て松まをさぶ

勝

すがり

勝

すがり

から 系本

○姓氏録下本百廿三左 山城國諸蕃百海 須之後也

上勝同祖百濟國人多利須

○同上下末百廿五右 攝津國諸蕃百海 上勝同祖多利須須之後也  
多利須は姓かちと列るに倫ゆへすがりと列べし上勝と云  
も何れかんのすくりに列べし村主と曰列まへ上村主と云も  
何れ下村主も同

村主

○姓氏録下末百廿四左 攝津國諸蕃百海 葦屋村主同祖意宝荷

○同上下末百廿五左 和泉國諸蕃百海 葦屋村主同祖大根使主之





菅原朝臣

はがら

於都大に氏系出

ゆと古師氏より後小居少の地を以て改めたり菅原の伏見とありありの所大和山城の伏見よりて委事大に氏の系より出たり古師氏を菅原と改めしは後日紀元天皇天應元年の紀より見えたり

○姓氏録

中本 右京神別下 天孫

土師宿禰天德日命十二世孫

可美乾飯根命之後也先仁天皇天應元年改土師賜菅原

氏有勅改賜大枝朝臣姓

○同上

中本

菅原朝臣土師朝臣同祖乾飯根命七世孫大

保慶連之後也

菅原朝臣

菅原朝臣

菅原朝臣

○松浦

すきうら

後冷泉院の時先祖八雲部於時真切厨川の地を付記すその子貞任ももよ死ぬ次郎字任八郎系一と源氏家の被官となりくを云一とあるは源姓をとりしは冷泉元年の年明和元年申と肥前山小崎と松浦の字は任をその好家とすつれて八百年松浦松浦三浦とすそは姓は橋とこれ家の名傳ふ

程村	小野	逸見	稱	泰	大	五十子
多治	不破	戸次	尼佛	建	新	五十嵐
並	秩父	日	徐織	芳	落	草
明	野	富	堀	初	勇	伊
仁	上	郎	八月	服	忌	伊
大	伊	冬	日	堀	貞	棟
	達	良	一	原	兵	系

名字

奇字抄出

*[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]*

拾芥抄姓氏部

史直

真人

陶山

之宅

相子

了剛

乙訓

勝

忘寸

朝臣

末武

下間

志田

富賀見

大佛

部

縣主

宿祢

吹田

信夫

吉良

榎並

日下

氏

村立

連

役樂

吉川

子城

日下

雜

神立

王

宮守

信成

足利

楠

無尸

使立

公

階戶

由良

飛鳥

柳生

人

首

伊美吉

臣造

